その…
君が大変なのは
承知の上でだが
私はとても…
「面白い」と
感じている

デスレス

Rikudou Koushi

六道神士

DEATHLESS

YOUNG KING COMICS

デスレス

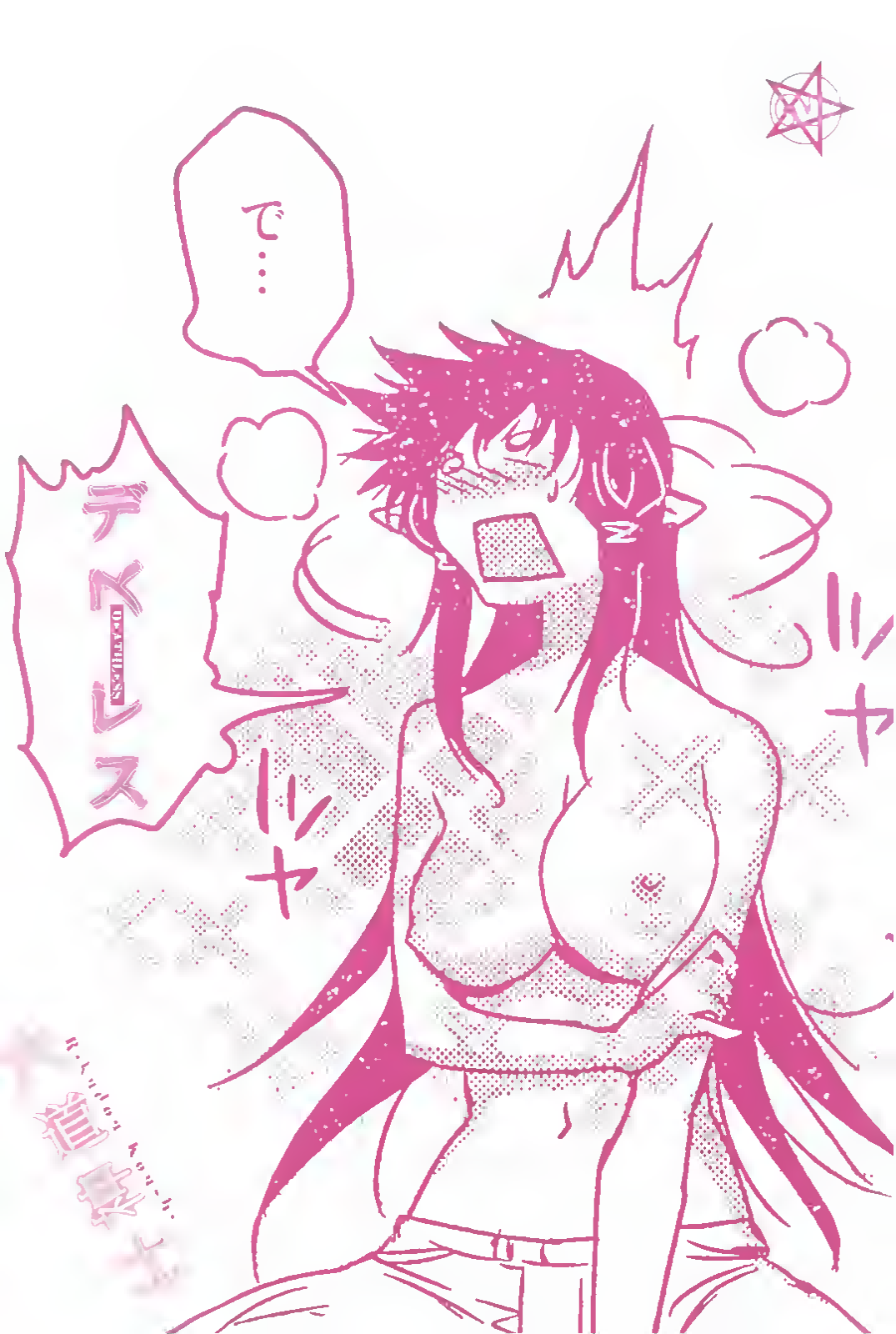
六道神士

YOUNG KING COMICS

ISBN978-4-7859-3579-5
C9979 ¥533E
雑誌 50035－79
少年画報社
定価:本体533円+税

Miyuki's University friend, Mayu was killed by an unknown
enemy. Miyuki hung Mayu back to life by her spiritual power,
and made up her mind to beat it down.
The enemy, Fukuh seemed a little boy, but was stronger than
Suzuku a Deathless assimilated by Miyuki's talent.
In the end, Miyuki got him up.
Though she won,
she noticed
a calamity
of her body...

六道神士のコミックス
[エクセル♥サーガ]……1～26巻
[Holy Brownie]……全6巻
[デスレス]……1～2巻
……少年画報社刊 B6判 520～590円


で…
デスレス

YOUNG KING
COMICS

第九話　戻るひと　……　3
第十話　違うひと　……　29
第十一話　受け入れるひと　…　51
第十二話　感じるひと　……　75
第十三話　めざめるひと　……101
第十四話　傍にいるひと　……123
第十五話　水の中のひと　……145
第十六話　変わるひと　……171

第弐巻

何が？
このあたり
だったり
するのです♪
言ったであろ
カマドには
死の臭いが
判ると
死？
ぼうし……
この…
帽子…

第九話
尽るひと
これ……
なに？

喰い掛けとは下品な…
舐められたものだな
これでは食べられないのでございました
カマド！そのような場合ではない
ドクン
……違う
そんな場合じゃ…ない…
気をつけい！敵が近くに潜んでおるやもしれぬのだぞ
「てき」であるますか？
吾らの同類だ
先日喰撃を売ってきおった
フン！
ミズキ殿代わって――
ともだちだよ？

ミズキ殿？
食べ物じゃなくて――
松川だもん
ズ〃〃

裏われたの？
死んでるの？
なんとか……

なんとか
なるんだよね！
あの…
えーとです…

助けるの！
できるんだよね!?
どうする気だミズキ殿
松川は！
いやミズキ殿は喰らい方もまだ…
食べものじゃないもん！

あたし
莫迦(バカ)だ
人の食べ方なんて
教わって…
誰を食べる
つもりで…
こういう事
なのに！
ウオン…
おう…？
ヒュ…

時が――
今し方まで
喰うのも
おぼつかぬ態で
あったのに――
戻る！
だがこれは
まずい…
わかった
ミズキ殿
交代しやれ！
見境無く
戻しては
こちらの時が
尽きて
消えてしまうぞ！
松川が死ぬ
あたしが
消える…
どっちも
嫌だ！
嫌
カマド！
離れよ！
はえ？

な…
ハッ!
アッ
アッ
あれ?
なんだぁ?
松川(マッ)!

4マメ
あれ？
スーちゃん
じゃん
刺激的な
カッコ
してんなー
元から
小柄ではあったが
……少々
小さすぎぬか？
あれ？
私どうし……
私も
刺激的じゃん！
何がどー
なってんだよ！

うお？
帽子がねぇ！
帽子はどこだ！
アワ アワ
他にも色々と
突っ込み所は
あるが…
ミズキ殿
ここは落ち着いて
仕切り直した方が
よいのではないか？

ハァ…

巻き込んだ
かたちで
バレたのは
最悪だね
ま
仕方ない
じゃない？
隠しおせる
もんでもないさ

どこまで
バラすの？
あの子は
誤魔化すの
ヘタだからね

ゼェ
ゼェ
ゼェ
ゼェ
ゼェ
おーおー
ガタッ
こーの変質者キラーなぶりちーぶりは…
10歳ってとこか？

なんつーか
ミズキも
おもろい事に
なってんねー
まー私も
一回死んだとか
冗談臭いけどさー
冗談でロリっ子に
なんないわな
何も全て
説明することは
なかったのでは
ないか？
全部
話すつもりなんか
なかったもん…
ゼイ
ゼェ
ゼェ

私に
隠し事なんか
10年早いね
確かに
水際立った
尋問ぶりでは
あった
尋問とかじゃ
ない…
ワキャ
ワキャ
ワキャ
ゼェ
ゼェ…

何？
今 スーちゃんと
話してんの？
代われるんだろ？
代わってみ？
スー…

……
ミズキ殿
代わって
もらえるか
え？
…うん
許す

この形(なり)では初めてお目にかかる
ヒュ…
スザクと申…
なーんだ
…まともじゃん
へ?
…まともとは?

ミズキに聞いた
限りじゃ
私のことなんか
明日捌かれる
鳥や豚を見るよーな
目で見るのかと
思った
うわ…
言いたい事を
言う御仁だ
松川小鳥だ
「マツ」でいいよ
てゆーか
名前禁止ー
ふむ…松川殿
別に時を喰う事と
人と関わる事は
矛盾せぬよ
お一妖怪っぽい！
かっけー！
マーラー
そのような事が
聞きたかったのか？
いんにゃ
スーちゃんは
私を裏ったヤツの事
知ってんのか？
先程ミズキ殿も
話したとおり
先日の襲撃が
初対面だ

私も気がついたら…ってカンジで何も見てねーしなー
わかんねーなんで私が襲われたんだ？
スーちゃんと人違いするほど見た目似てねーし
ハウ…ごめ…
あミズキ勘違いすんな！巻き込まれたとか思ってねーよ
気の回る…

ただ襲われた理由もわかんねーってハラ立つしな
テキトーに殺して家の前にポイだぜ？意味わかんね
スーちゃんたち狙ってんなら握って取引材料にするとかさ
なんでそんなこと冷静に考えられるの
フツーならこれって脅しだよな
でも私助かってっし…

なー
様子見されたんじゃねーのか？
様子見？…
身内や知り合いが襲われたらどーすんのか見られたんじゃねーかってコト

私を助けんのって
結構負担
だったんだろ？
ヘタすっと消耗戦
吹っかけられんじゃ
ねーのか？
消耗戦？
敵さんここに
入ってこれないって
言ってたじゃん
籠城には
兵糧攻めが
基本だろ？
まー敵が
見境のないバカって
センもあるけどさ
ホーゥ…
いや
成る程…
ある意味
吾らには無い
発想だ
ミズキ殿には
過ぎた学友だな
どういう事？

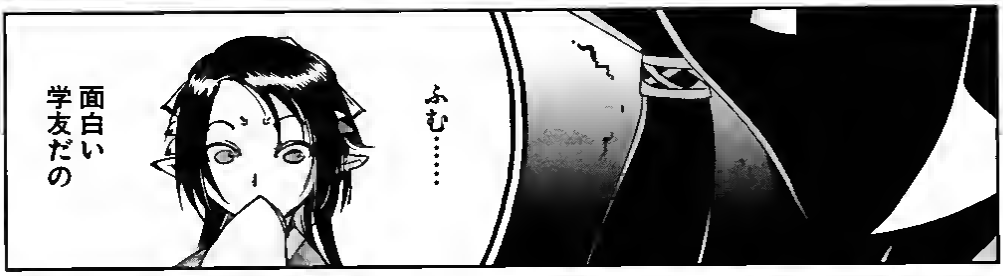
吾らと関わる人々が見境無く襲われる可能性があると言っておる
なんで!?
目前の被害者に対してミズキ殿がどうするか敵に知られたからだ
そんな！だって…
ミズキ殿は敵の餌に食いついてしまった
餌とか！
ああするしかなかったじゃない！
責めておるわけではない
だがミズキ殿に選択肢が無い時点で敵の策略は有効なのだ
敵の目的が何かはわからぬが吾らが狙われておるのは確かな事
そして敵も同類の力を削ぐにはどうすればよいか判っておるのだろう
現に吾は己を維持するのも危うい有様だ

暫くここにゃ近づけねえか
スッ
しゃあねえな
え……
あー ミズキか
大変っぽいけど頑張ってどーにかしな
私も大町も暫く関わらねーよ

あ…うん…
ごめん…
謝んなくていいからさ
とりあえずこのカラダ
元に戻してくんない？
できんだろ？
うん…
あたしじゃ
上手く
できないから…
スザク…
お願い…
おひょひょ
ひょ
ギク!!

おーわー
す…スゲェ…
クセになったらどーすんだアレ
あバーちゃん悪いけどタクシー呼んでくんねーすか
ああ
……
悪かったね
ぜーんぜん
そっちこそ大変すね
でもないさ
ズズ
あれがミズキだって信じてくれてありがとうよ

あんなヘタレ滅多にいねーし


ふむ……
面白い学友だの

縁切られちゃった
あたしのせいで…
ヒッ

巻き込んで…迷惑かけて…
まあ死ぬのはともかく生き返るのは珍しい体験であろうな
ポト
ポッ
もう関わりたくないって…

はて…
何をどのようにすればそう聞こえたのだ

だってあたし人間じゃなくなったりしてるし…
そうだ松川殿は只人として冷静な状況判断をしたのだ
足手まといにならぬよう避難すると言うだのではないのか？
ミズーキ！
カラッ
出席はなんとか誤魔化しとくからカタがついたら学校に来な！

ミズキ殿の
周りには
過ぎた者が
多いの

ねぇスザク
あたし大事な事
忘れてた…
何をだ

友達を酷い目に
遭わせたヤツに
ムカつくのを
忘れてた
これ…
怒っていいとこ
だよね

無論だ

育ってたんじゃん
これでも
ナゲだぜ

デスレス

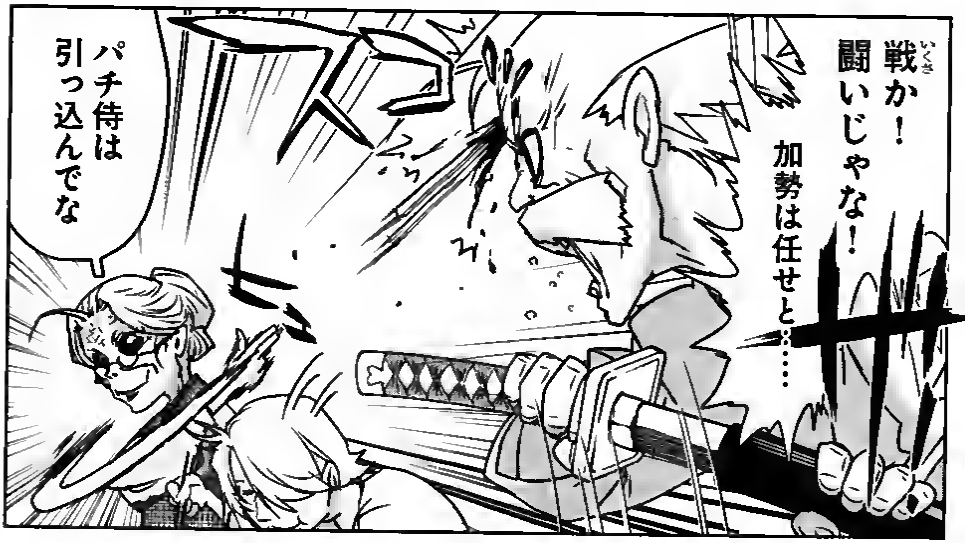
DEATHLESS

第十話
違うひと

おかわり！
はいでいす

ガム
ガム
ガム

おう…
ハラの座った
いい眼じゃ
ウズ
ウズ


戦か！
闘いじゃな！
加勢は任せと……
パチ侍は
引っ込んでな

アタシたちがウロついてもミズキの足引っ張るだけさ
まあ…吾とミズキ殿で対処する他ないのは確かじゃな
カマドさんは？
当てにしておったのか？
あやつに諍いはムリだ 闘争の心を持っておらん
そのかわりカマドには時を分けてもらうがな
カマドさんの時の貯金ってどれくらいあるの？
さて…目に見えるものでもなし…この阿呆も無駄遣いが多いからのアテに出来るほど残っておるとも思えぬ
ミズキ殿がそこらで調達できればよいのだがな
却下！
そういうスザクも全然貯めてないんじゃない
仕方なかろう吾はさほど時を貯める事なぞできぬのだ
…できないの？
……なるほどね
ミズキスザクさんに変わってくれ

なんだ ミカサ殿
今までスザクさんの同類が何人もいたとかそういうことはなかったんだね？
うむ…
どう思い返しても此度の遭遇は吾も初めての事だ
じゃあ「違う」んじゃない？
…「違う」とは？
キミらが「種族」とか「種類」とかそういうんじゃなくてさ
キミとカマドちゃんも似てるだけで別のなにかかもしれないって事
今回の敵も同じものじゃないかもってこと？
…確かに似たようなモノと決めてかかっておったが…
ふむ……

違うモノ…
か…
え？
なに？
いや…

腑に落ちたというやつだ…
ねえ…適当にうろついてて大丈夫かな…

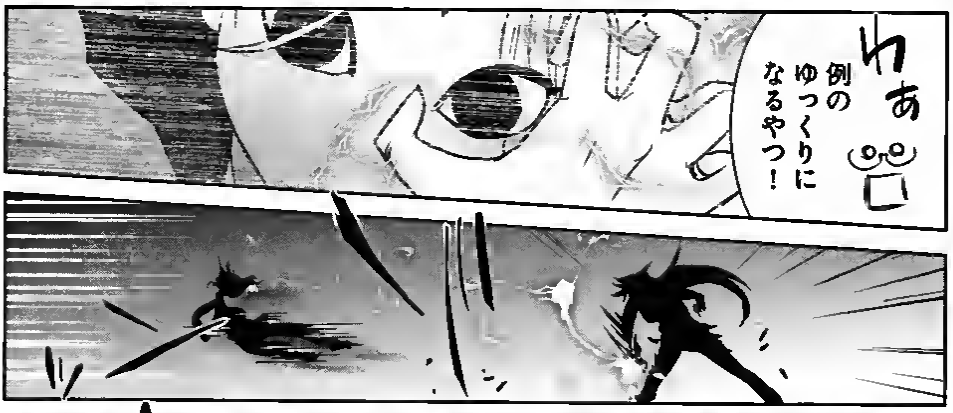
理由はわからぬがどうもあちらは急いでおるようだ
先の件は吾らをいぶり出すための挑発も兼ねておったように思う
まんまとおびき出された吾らを見逃しはせぬであろ
どう…なるのかな
さて……吾も同類と闘ったことなぞないまあ…喰らい合いになるであろうな

勝てる？
というか
結局吾が
闘うのか？
まだ
莫迦莫迦しい…
あまり吾を
当てにするな
多少カマドに時を
分けてもろうたが…
対等かどうかは
わからぬ
負けたら…
どうなるの？
星間の威勢は
どこへいった
ﾌｯｸｯｸｯ
怖じ気づいたか？
勝つの
負けるのと…
今となっては
些細な事だ
まったく…
とんでもないのに
捕まったものだ

ゴ
ぬしには
この気分が
わかるか？
それとも
吾とは全し
別物なのかえ？
ハッ
…頑張って！
やれ……
他人事では
ないのだが——
ス…
ズ
いるの？
もしかして
いるの？
無口な性らしいの

喰われた!?
相打ちだ
ぬしよ
思惑通り
誘われて
やったのだ
仮面は
無粋ぞ
今宵
吾らはいずれかは
消え去ろう
名前くらいは
残そうではないか

…不空(フクウ)
朱雀(スザク)だ
子供!?
惑(まど)うな
見た目ではわからぬ


例の
ゆっくりに
なるやつ！

が…ガンバレー！

これは…
厄介だの

やった！
いや浅い
途中で
あちらも
加速して
きおった

ゼェー
むう…
――ここまでか…
ボ
ゼェ
ロ
ッ
早っ！
こっちから
ぜんぜん
攻めてない
じゃない！
うむ…こちらに
著しく不利な点が
ひとつあってのう
吾は痛いのが
苦手なのだ
ガマンしてー！
勝手だのう
くっ！
あ…
チ
ッ
お手上げだ
うとは任せたぞ
え!?

ええええええ？
ちょ…待っ！
痛あっ！
うむ
痛いであろ
ほれ
やり返して
やれい
スザクが
勝てない相手に
どうしろって
いうのよ！

まあ
勝負には
なるまいな
そんな…
格が違いすぎる
ドガッ
ドガッ
何をしておる
ミズキ殿が
負ければ
相手は喰い放題
なのだぞ
ドガッ
ドガッ
カマドは
アテにならぬし
御祖父母殿らも
松川殿らも
抗う術は
なかろうな
な…
吾らも
ここで消えて…
彼岸に
地平があれば
そこへ
逝くのだろう

悔しくば
一矢報いては
どうだ
あ…
あ
ガク…
やれ…
気の毒にの

不空とやら
!?
あの…
ぬしも吾も
とんでもないのに
関わったものよ
あッ
あの時――
ミズキ殿は
松川殿に
時を戻すために
――
人以外から――
森羅万象から
時を喰った

ぬしも
吾もどうやら
人の時を
喰らうだけの
もの
たかだか
人の天敵に
すぎぬ
この世の
全てを
喰らう
ような――
怪物に
勝てる
道理なぞ
ないわ
勝負などと
莫迦莫迦しい…
格が違う。
だめ
はっ
あ
あ

ほれ
ミズキ殿の勝ちだ
吾を当てにする必要などないと言うたであろうまったく
な…
あたし…何を…？
喰うというより丸呑みだの
えええええ
おそる
おそる
コクリ…
い……
いるの？
中に
おる
中に

すみの方で放心しておる
もう吾と同じで何も出来ぬよ
そっか…これでみんな安全に…
同じ…？
ミズキ殿？
よかった…変わってない
なんなのだ
スザクのときみたいにまた見た目が変わったりしたらややこしいじゃない！
やっと慣れたのに
また些末な事を気にするのう
とにかくひとまずは安心なのね…
うむ吾も疲れた

W.C
今日はもう休んで明日…
ﾊﾀﾝ
W.C
はえてるう!!
おお…
男児であったか
ミズキ帰ったのかい?
ミズキ!勝負はどうなったんじゃあ!
で生えたって何がー?

デスレス

DEATHLESS

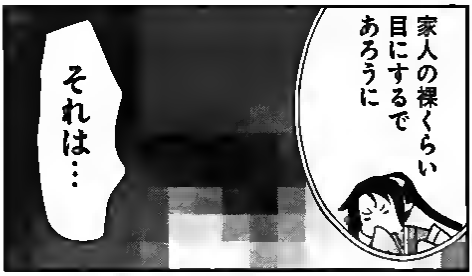
…ミズキ殿
ミズキ殿？

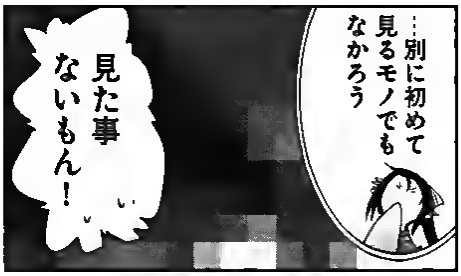
これ以上は危険であろ
ちと限界ではないか？
ポン

吾もこのような危機感は初めてだ
非常に落ち着かぬ
ペン
ペン

第十一話
受け入れるひと
漏れてしまうぞ
W
いぃ～や～～ッ！

ガゴバ
W.C
カポポポ

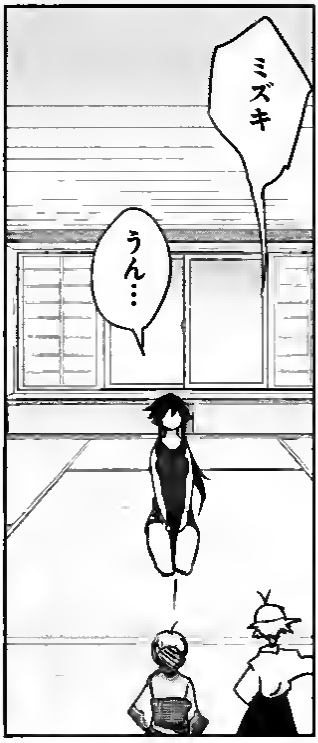

家人の裸くらい目にするであろうに
それは…


…別に初めて見るモノでもなかろう
見た事ないもん！

それに比べれば可愛い代物であろ？
そーゆー問題じゃなくて！
バーン
なんかもうこないだから大事なモノをガンガン無くしてる気がするのよ！

先っぽから出すのがそれほど衝撃か？
先っぽ言うなあ！
ミズキ！早く来な！

いいかい
始めるよ
いつでも
いいぞい！
？
？


ミズキ
うん…

ええと…

……許す

ヤーク
ぬ……！

おのれ
化性めが！
ヤツ
待ちな！
ミズキ！
ぷはっ！
あいたっ
いたた…
足掻(あが)いても
ムダだと
わかったか？

ぬしはもう
虜の身なのだ
思い知ったであろ
まあ吾とて
他人事では
ないのだが
手荒なこた
しないから
安心しとくれ
ちょっと
話が聞きたい
だけさね

まず――
なんで
ミズキを
襲ったんだい
アンタに
何かしたのかい？
ど
ど
ど

こりゃ今んとこどうしようもないね…

まあ当面の脅威は去ったと思っていいんだろうが…

いやいやいやいや！

去ってない！去ってないよ！

こんなのぶら下がったまんまなんて嫌――！

パオー

そんなに嫌がらなくても

意外と面白いオモチャだよ？

スザク！どうにかなんないの

ミズキ殿が喰うたモノのせいなのだから仕方なかろう

まさき…

いじゃ

喰うたというか取り込んだというか……

色々と問題がありすぎだ…

まあ順番に紐解くしかなかろうが…

ミズキ殿……後 祖父母殿に伺いたい事がある

？

ミズキ殿の出自について…
やっと出席できる…
ヒソ
ヒソ
ヒソ
あ…
あのー
？
宮森さん？

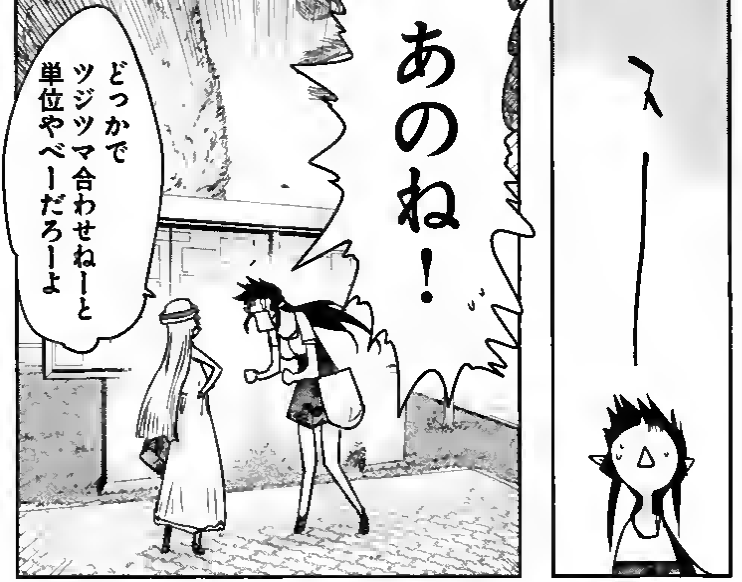
宮森さんなの？
え？
え？あの…
宮森さんの声だわ！
本当なのね!?
ばばばば
バレてる？
まさか…松川（マツ）！
口の軽い御仁には見えなんだがのう
でも他に…
宮森さん！

学校休んで
全身整形したって
本当だったのね！
ヒ…ヒ…
ザワ…ザワ…
どうして
そんな
思い切った事…
そこまで
思い詰める程
ひどくは…
確かに地味
だったけど…
「整形」？
イク
イク
しろ
しろ

病院どこ？
いくら
かかった？
はいい？

……病院…
おお…
へ……

この短期間で…
マジ？
あのっ
この出来…
どういう…
ゆるせね！
胸だけでも…
TV番組の企画で
世界中の名医に
よってたかって
いじられた
らしいぜ！
松川（マッ）！
はよーっーす
カタぁ
ついたんだな？


あのね！
どっかで
ツジツマ合わせねーと
単位やべーだろーよ

ーーー

合ってる？
辻褄合ってるの？
どっかの
おねーさんと
合体超人に
なりましたって
よりはな

元に戻った時
なんて言えば
いいのよ！
んな保証
ねーんだろ？

多少のムリは
相手が勝手に
埋めるさ
それにおめー
勘違いしてるよ

難しいのは
ミズキ自身の
本人証明の方
なんだぜ？
早めに周囲を
ねじ伏せないと
ほんとに赤の他人に
されちまうぞ
元のおめーを
消したくないだろ？
ミズキ…
なのか？
大町…
あの…
事情は
話してちんよ
お
大町…
はよーーす
ここでは
なんだな

ええと…
ミズキ…
な…
なに？
スザクさんに
変わってみて
もらえないか？
よいのか？
……うん

ウ、ウム。。
お初に
お目にかかる
スザクと
申す
成る程
ゴクリ…
あの…大町
ごめん…
だました事…
おっ
大町(マチ)…
大丈夫？
うむ
待ってくれ
頭の中の
世界の定義を
書き換えてるんだ
え？

私は見たものしか信じない
更新
完了
私が自分を正気だと信じる限りそれが私の世界だ
ふむ
割り切った世界観だの
そして…
私は君に謝罪しなくてはならない
何を？
その…
君が大変なのは承知の上でだが
私はとても…「面白い」と感じている
正直興味津々だ
あ？

ユーズーきかねーな大町(アカマチ)は
そーゆーこた黙ってても
オモチャにしにくくなんだろが
だけーから
オモチャではなく私は面白いと——
あ…
ハ

あのね！大変だったんだから！
怖かったり襲われたりわけわかんないし！
もー
ほうほう
おう言っちまえ言っちまえ

昨日だってヘンなのとたたかって——
わらわら
ムム
ほーう
マジで！聞かせろよ！
……
ミズキの出自についてて……？
やれ…くすぐったいのう

不思議に思うておったのだが…
祖父母殿らは御姉弟とのこと
ミズキ殿はどなたの直系にあたるのだ
……
気付いているようだね…
確かにアタシらとミズキに血のつながりはないよ
ミズキは赤ん坊の頃アタシらが施設から引き取った子さ
書類上ではアタシの娘ってことになってる
ワシがオシメをかえたんじゃあ！
ではご両親についてはー
不明なんだとさ
……

このこたミズキにも話してある
…うん
まあそれだけのことさ
血縁なんざ関係ない
ミズキはアタシたちの孫なんだよ
ワシがオシメをかえたんじゃあ！
……

成る程…
相分かった
ミズキ殿の前では――
聞くな…と
何？新しいワザ増えたって？
また合体かよ
生えたというのは…いわゆるあれなのか？
機能は？
うお！見てえ！
おお
ちょっとな
やーめーろー！
スザク！こんなことまでバラすことないじゃない！
ううむ…
内緒話ができぬというのは不便なものだな

W.C
ガキの
どうだった

デスレス

DEATHLESS

その日 あたし…
宮森水城は——
一度死んだ
いや…殺された
そしてすぐに
生き返った…
いや…
生き返らされた
すぐにまた
殺されそうに
なった
いや…
喰われそうに
なった

あたしは
なんだかわからないものになった
消えそうになった
また喰われそうになった
喰い返した
そして――

第十二話
感じるひと

かふぁ
おはよう
ミズキ殿
はふ
百年分の憂鬱を
塗り込めたかの如き
うなり声だの
ガチャ
ゴソゴソ
まったく
朝からなんぞ…
ガチャ
ゴソ
ガタッ

こんなもの！
ミズキ！
待て待て待て
ミズキ殿？

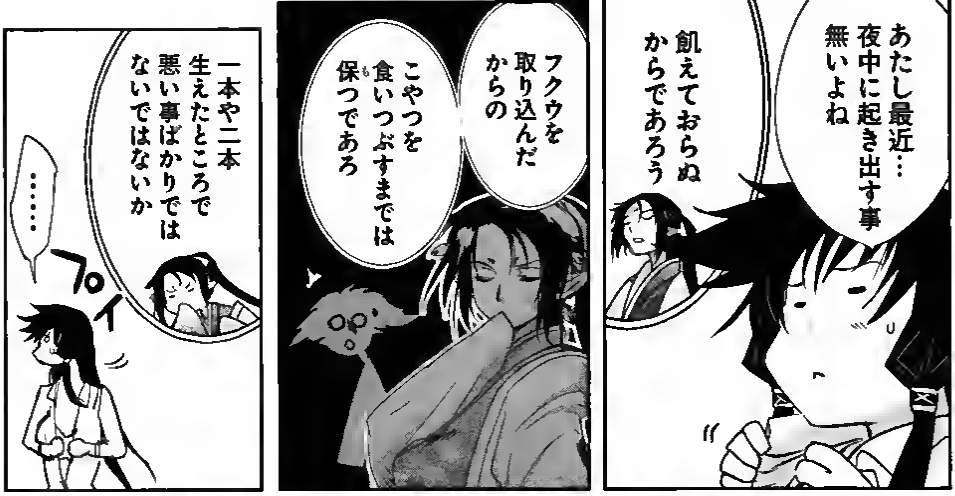
ちょん切っちゃえば
いいんじゃない？
何をだ？

落ち着け
ミズキ殿
何をしようとして
おるのかは知らぬが
フクウが尋常でない
怯え方をしておるし

吾も嫌な予感しか
だって！

ゴゴゴゴゴ
なるほど
はぁ…
ホッ
怒張した状態の
男根を見るのは
初めてであったか
生娘…
怒張とか…
言うな！
うるさい！
ええと…
そうさな…
むむむ
流石にあの状態は
情を交わす時くらいしか
目にはせぬわな
サイズ…
変わりすぎ…
そういう
ものぞ
うう

まあ気にするな ミズキ殿
殿御は起き抜けに特に淫靡な理由なく怒張するものなのだ
ぽん
特にミズキ殿が淫乱なわけでも異常なわけでも
こんなのが生えてる時点で異常なのよ！
やっぱりちょん切っちゃえ！
最近反省しました ちょっと流されすぎ
もっと危機感を持たなくちゃ…
——そういえば


あたし最近…
夜中に起き出す事
無いよね
飢えておらぬ
からであろう
フクウを
取り込んだ
からの
こやつを
食いつぶすまでは
保つであろ
一本や二本
生えたところで
悪い事ばかりでは
ないではないか
……
プイ

…わかってる
これって
問題の先送りだ
次に飢えたら…
あたしもう…
他人の時を
食べるなんて…
できないかも…

別にかまわぬ
のではないか？
へ？
でも食べなくちゃ
消えちゃうん
でしょ？
……

もしや
自覚が無いのか？
呆れて
ものも言えぬ…
なによ…
大変なのは
ちゃんと
わかってるわよ
……

まどのみちしばらく
心配は要らぬのだ
そりゃ
そうだけど
まだ6時か…
どうしようかな
カタン

にゅ
おはようで
あるますー
カマド
あごめん
起こしちゃった？

早起きで
ありますので
ございますねー
スル…
いやちょっと…

早めに ご飯に
するでございますかぐ？
かまわなかったり
しますればぐ
テレン
？
ポト

だらしない
カッコで家の中
歩かないで！
はひん
ひどい…
何を
苛(いら)ついて
おるのだ
なんでもない！
違う…
違うから！
二度寝！
むう
やれ……
んで
遅刻かよ
ケタ
ケタ
ケタ

よかったな
試験範囲の発表
間に合って
出席扱いに
してもらえ
なかった…
日数マズイのに…
終了10分前では
当然だろう

で
元に戻る
手がかりって
見つかったのか？
全然
大変だなー
ばーちゃん達

あたしは？
おめーは
それで
助かったん
だろうがよ

まあそう
追い詰めるな
松川
あ
そーだ

あたし こないだ
時を喰われたり
戻されたり
したじゃん？
あ…うん
ごめん！
松川も
珍しい体験を
したものだ

軽い後遺症が
あってよ
ゼカ…

だ…
大丈夫？
このへんにさー
ゼッ
ハッ

松川（マツ）人通りの
有る場所で
どうかと思う
見えやしねーよ
いーから聞けよ
ドキ
ドキ

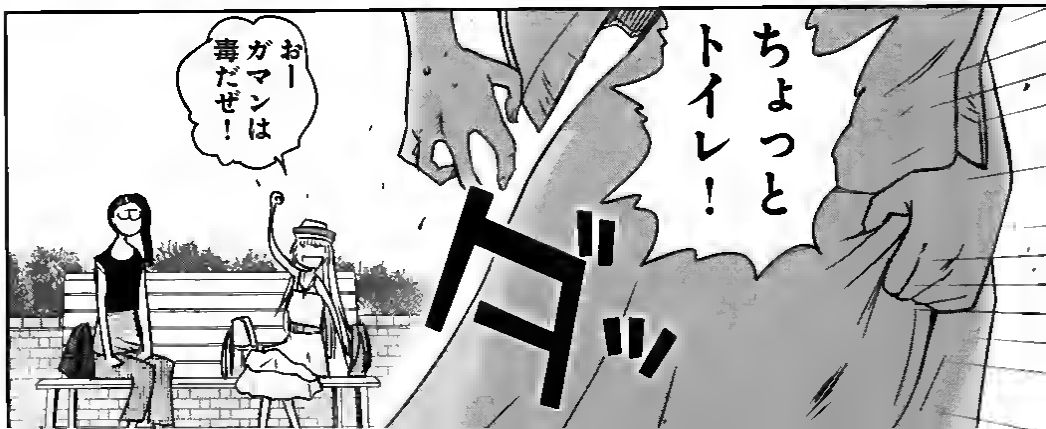
ここに
中坊の頃
クギの出っ張りで
5針縫った傷跡
あったんだけどさ
キレーさっぱり
無くなってんの
ドキドキ

うれしー
後遺症♪
ハー
？

大町見たこと
あるよな
けっこークロいの
ドイツ
ふむ…
確かに…
消えている
ほう……
ワッ

そーゆーのは
再現されないんだな
リリン
リリン
記憶に欠落はないんだな？
わかんね
私 忘れっぽいし

しかし何か
理屈があるのかな
どーしたミズキ
気にしてんのか？
いーことあったって
言ってんだよ
けっこー
気にしてたんだぜ
このキズ跡
これでビキニも
オッケーだ
あっ
あたし…


ちょっと
トイレ！
ドゴッ
おー
ガマンは
毒だぜ！

むう
興味深い…
しかし
どうした
ミズキ殿？
ハアハア
ハアハア
ハアハア
？
ホン
ああ
欲情したのか
違う――！
松川殿や大町殿は
昂ぶるに値する
女性だと思うが？
そういう意味じゃ
なくて！
なんか
違うの！
ヒクヒク

なんだか
別の感じ方が
混じってる…
頭の中に
違う衝動っていうか…
とらえ方ができてる…
多分男のひとの
とらえ方って
こうなんだ…
ふむ……

ミズキ殿が
吾の膂力や感覚を
得たように
男性としての
感覚も身につけた
可能性はあるのう
ただまあ
フクウのせいでは
ないわな
友達に
こんな感覚…

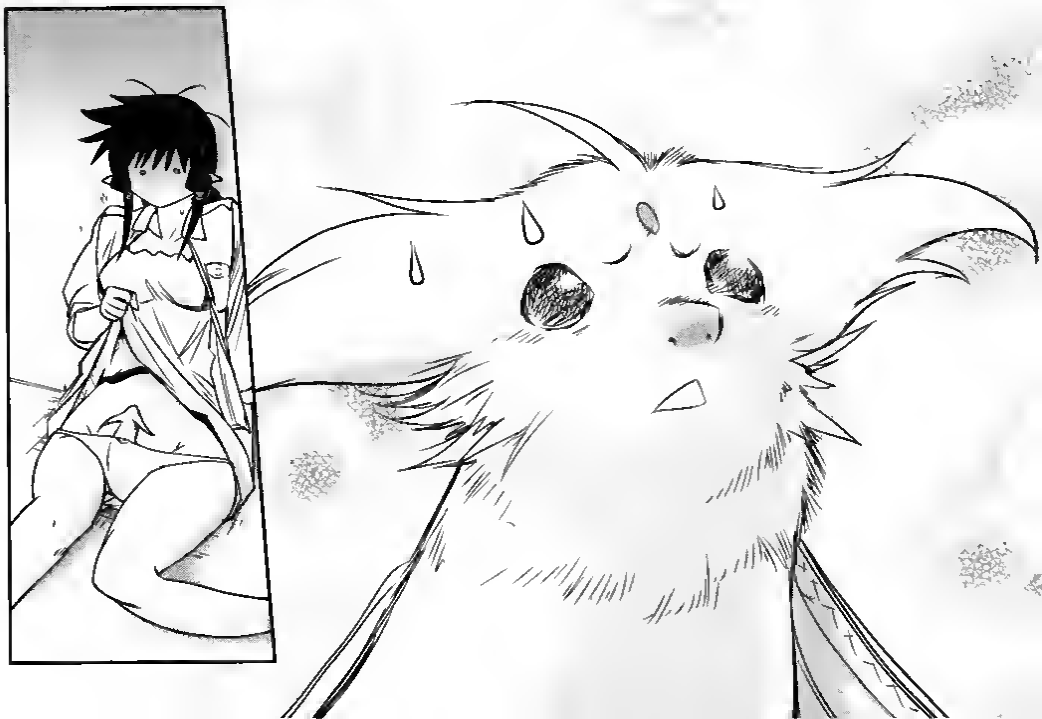
やだ……
気持ち悪い…

学友らに
失礼であろ
自分が
気持ち悪いの！
情けない……！

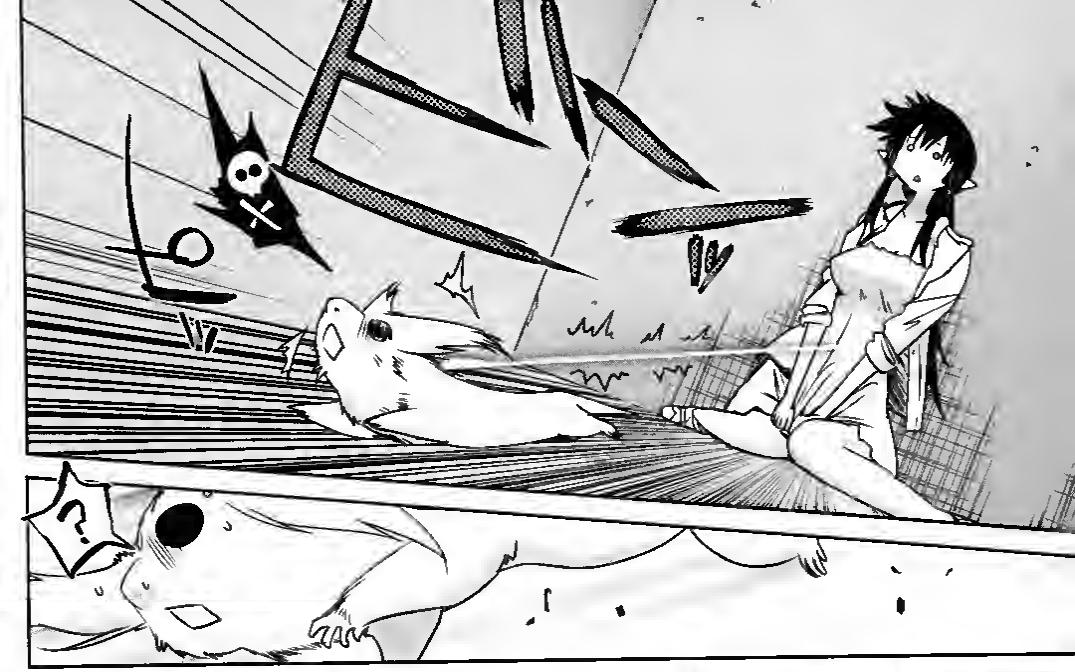
こんなの…今度
また無意識になったら
あたし松川たちに
なにするか
わからないじゃない！
女としてまこと
珍しい体験には
なるであろ

こんなの……
いらない！
そんなの嫌！
こんなあたし
いやだ！
はうっ？……
なにっ？……
今の…
また
大きく
なってる！
もーイヤッ
ひっ？
これって
動くの!?
いや
そういう風には
ないない
そ
そ
そ

ひ！……
……？



まさか……
フクウか？
！
ヒュー
ひうっ
ドゴッ
あ…ちょっと！
いったい何が！…
ア…
逃げた…？
？
？
いや……
やっ
暴れないで！…
ゴン
ゴン
やんっ
ゴン
ゴン



どうなってるの？
おそらくミズキ殿が男性部分を強く拒絶したせいであろうな
ボテッ

フクウのみ切り離した…
え…ていう事は…！

スザクも切り離せるんじゃないの？
元に戻れる？…
いや……
ピアッ

切り離さずに独立させおった
…熟々器用なことだ

…？
わかんない
あ…
ミズキ殿の体からは
はじき出されたが…
繋がってはいるようだ
なれば
聞こえるであろう
フクウ
ぬしは未だ
ミズキ殿の
一部なのだ
逃げられぬよ
無い！
無い！
とりあえず
なんでもいい！
取れたー！！
無邪気に
残酷な事を…
哀れな姿よ…
さすがに吾も
ぞっとせぬ

で…
この子…
フクウだっけ？
どうしよう

先程見たとおり
ミズキ殿の
側から離れる事は
できぬようだな
連れ歩くしか
なかろう

えー
ペット禁止のとことか
どうするの？

吾はこやつが
少々哀れに
なってきた…

ガーン

周りをうろつくのが
嫌ならば元のとおり
また取り込めば
よいのではないか？

フクウも
この姿よりは
マシであろ

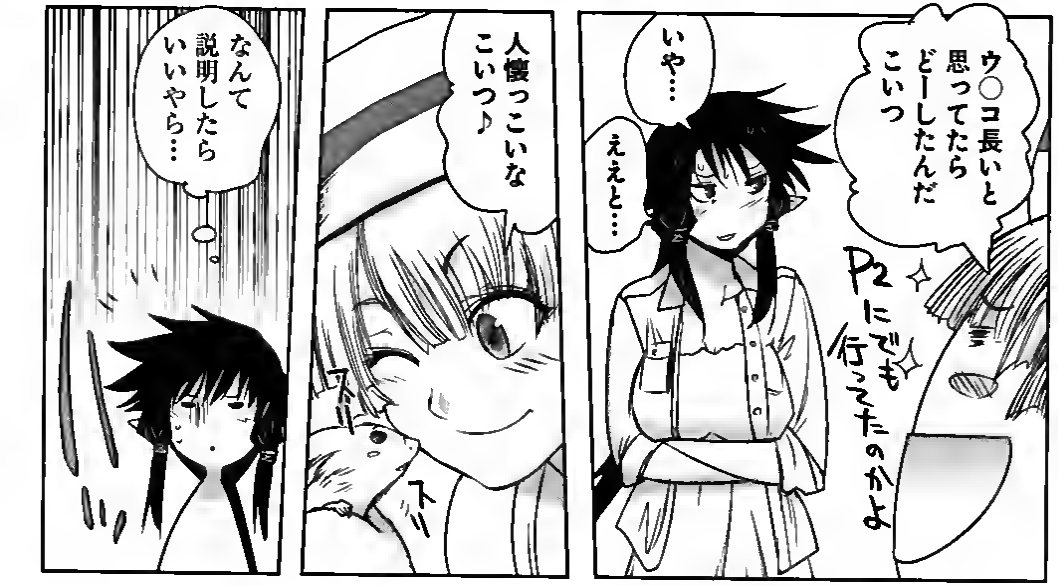
フニ
フニ

また生(は)える
嫌！

……

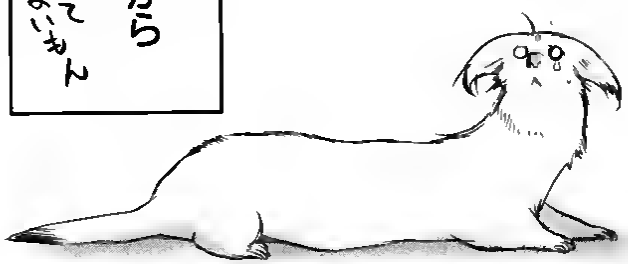
好きにしろ

お――♪
かっわいー――
はー
フェレット？
いや…
珍しい子だな
チタ
チタ
チタ


ウ○コ長いと
思ってたら
どーしたんだ
こいつ
いや…
ええと…
P2にでも
行ってたのかよ
人懐っこいな
こいつ♪
なんて
説明したら
いいやら…

その後
事情を説明して
壮絶に
イジられました

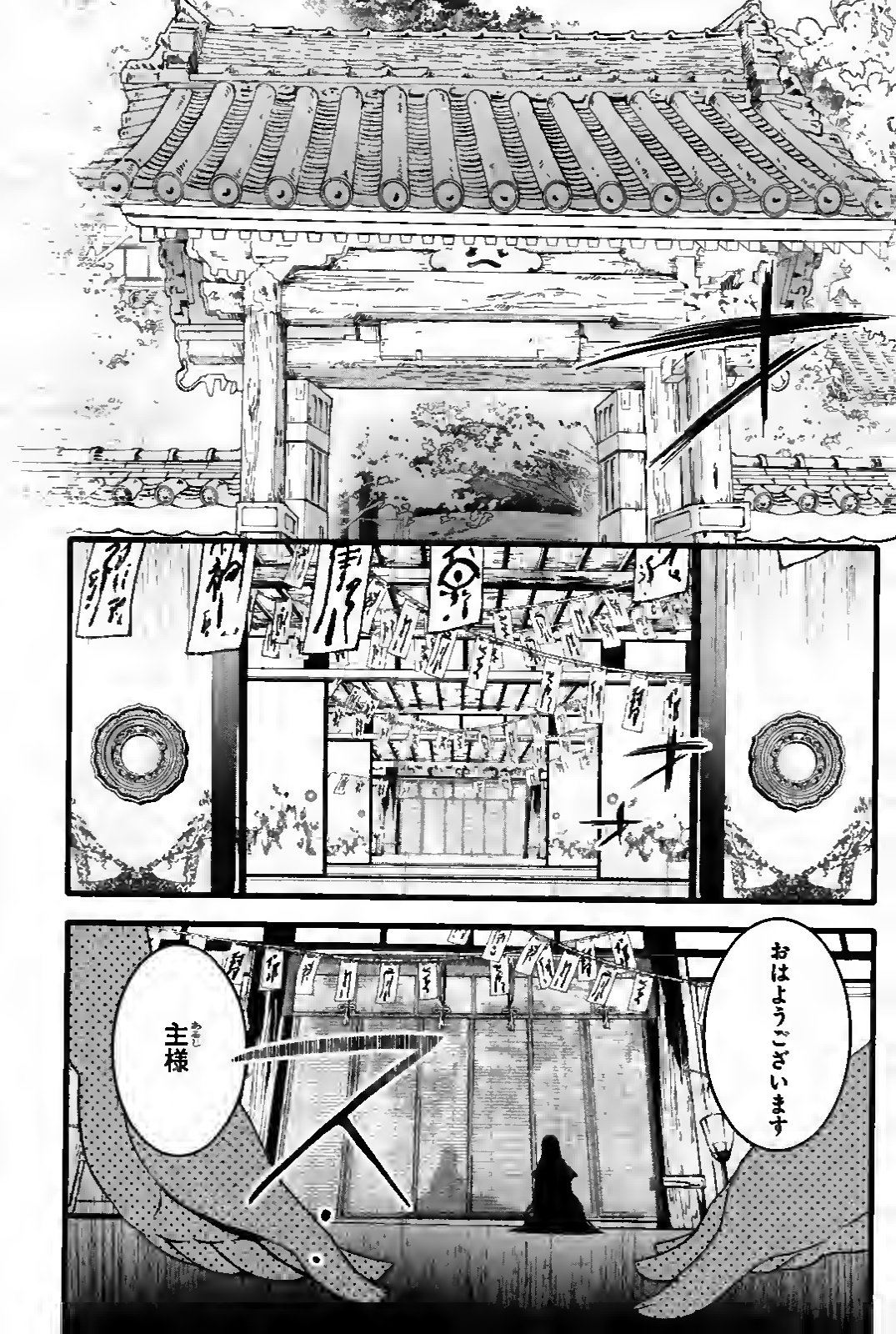
でも取れたから
いいや
落ちれてないもん



また…
…ちゃんと自分で
世話するんじゃぞ…
ワシゃもう
絶対せんぞ！
フクウ…
フクって
いうの！

デスレス

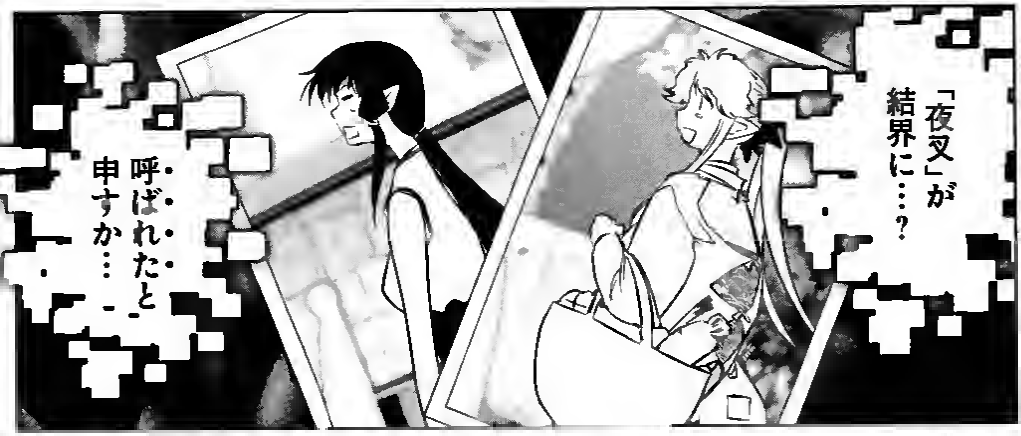
DEATHLESS


おはようございます
主様

第十三話
おざめるひと
――「宮の杜（ミヤノモリ）」は…
どうなっておる…

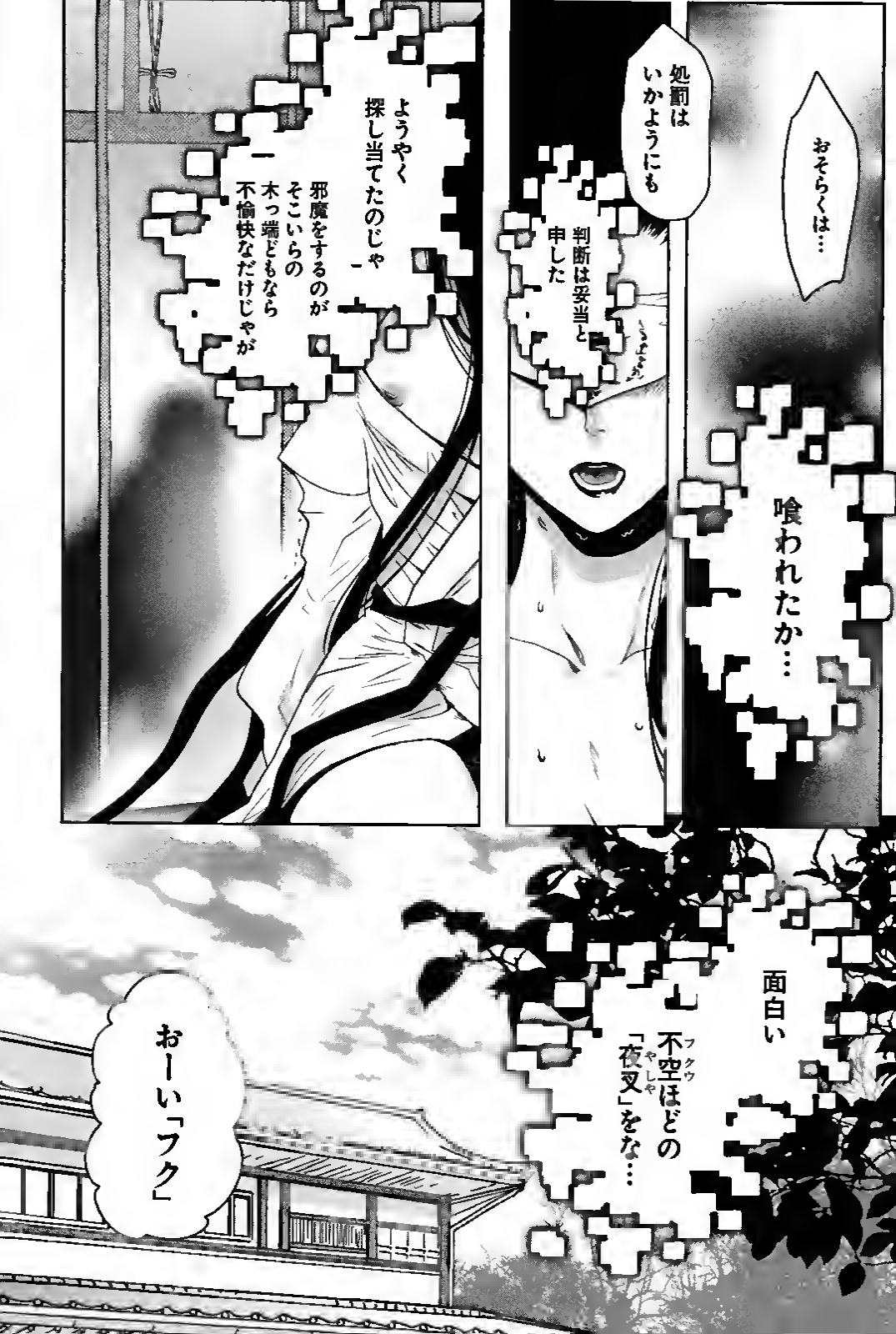
申し訳ございません
手配した人間共が上手く立ち回っておらぬようで
面倒じゃのう…
結界さえ無ければ人間など頼らずに済むものを
その事ですが…お許しを請わねばならない事が…
主様のお休み中――
2名の「夜叉(やしゃ)」が結界内に侵入いたしました
なんだと…

何者じゃ
流れ
夜叉のようで…
出自は
不明でございます

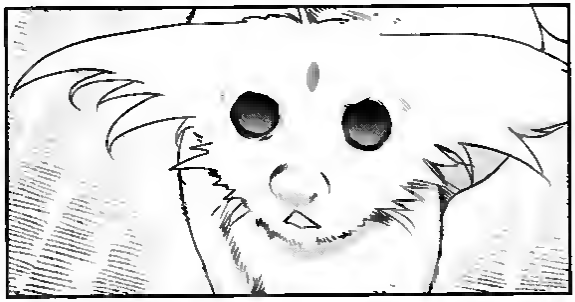

「夜叉」が
結界に…？
呼ばれたと
申すか…

よい
妥当な判断じゃ
して？
結界にも変化はなく
不空(フクウ)の気配も消え…

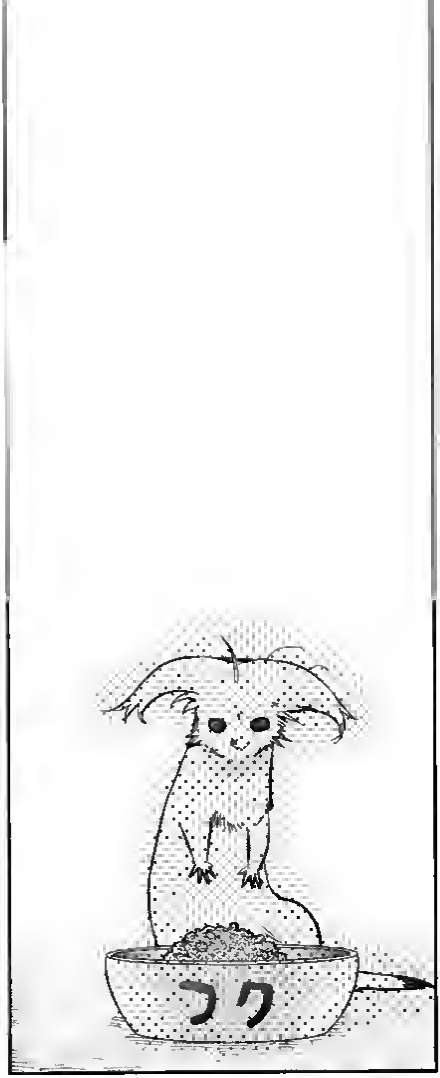
火急の事態と
判断し……
勝手ながら
人間に手を引かせ
「不空(フクウ)」を差し向けました


おそらくは…
処罰は
いかようにも
判断は妥当と
申した
ようやく
探し当てたのじゃ
邪魔をするのが
そこいらの
木っ端どもなら
不愉快なだけじゃが
喰われたか…
面白い
不空(フクウ)ほどの
「夜叉(やしゃ)」をな…
おーい「フク」

どうした
フク
食わんのか



遠慮せんで
いいんじゃぞ？
高いんじゃが
NATURAL FOOD


フク

なぜ泣く
……
カッ カッ

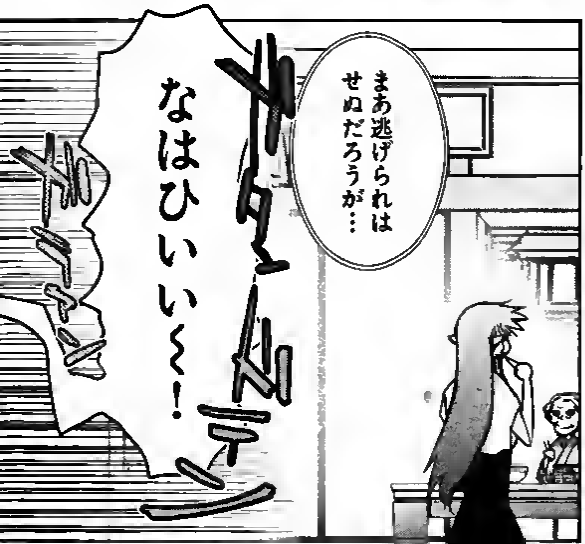
イタチをペットにするとは時代も変わったもんじゃ
武蔵殿には事情を話さぬのか？
面倒くさ〜って…
さみぐし
詳しく説明するの恥ずかしいし…
曲家の嫁じゃったが

ミズキ殿のその物事を先延ばしにする性分をどうにか
スザクさんや

ミサカ殿何か？
わっ
……ありゃあ大丈夫なのかい？

さて…
どうやらミズキ殿が許す範囲にしか行けぬようであるし

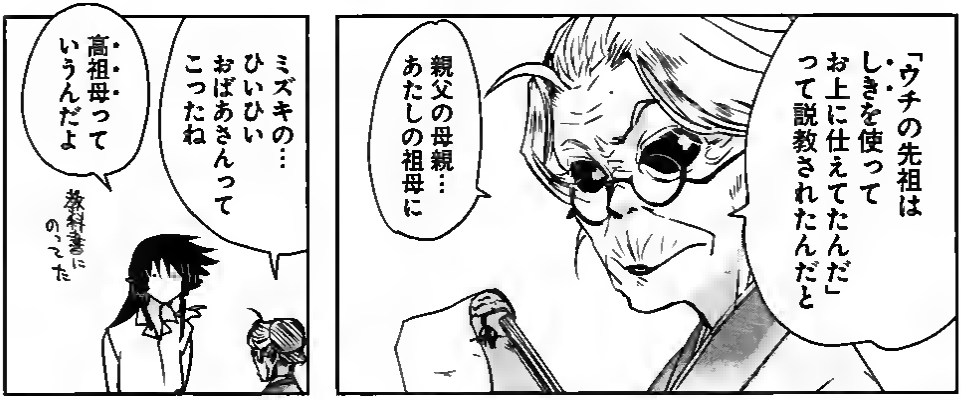
おそらくミズキ殿が望めば元の状態に戻れよう
絶っっ対イヤ！


まあ逃げられはせぬだろうが…
なはひいいい〜！

どうしたのッ……て
む
あ――っ！
わひいいい～っ
食べられておられてますなれ～
めッ！
ヒディアしめにイヤー！
性質は変わっておらぬようだの
はひ
なんてことすんの！
まあ待てミズキ殿

フクウよ
おぬし…
腹が減って
いるのか？
…コク
そうか…
やむを得ぬな
しかし
今後無断で
時を喰らうのは
やめよ
その代わり
時折吾らの時を
分けてやろう
ちょっと…
仕方なかろう
普通の食い物では
たしにしか
ならぬのだ
嫌ならこやつを
再び喰らえばよい
う…
フウ
その子を
こうしたのは
ミズキなんだね？
あ
このような方法を
吾は知らぬし…
其もそれ以前に
このような
発想が無い
吾も永く生きたが
今更このような
初めてづくしに
出合おうとは
思わなんだわ
……

外部の情報を
集めてる間
ウチの資料を
見直してたんだけど
ひっかかるモノを
見つけてね
何かわかったの？
アタシの親父の
小遣い帳の
日記めいた
走り書きに
あったんだが——


「ウチの先祖は
しきを使って
お上に仕えてたんだ」
って説教されたんだと
親父の母親…
あたしの祖母に
ミズキの…
ひいひい
おばあさんって
こったね
高祖母って
いうんだよ
教科書にのってた

「しき」ってのは昔
陰陽師なんかが
人でない化け物を
操ってたって
言われてる——
いわゆる
「式神」の事じゃ
ないかと思うんだ
式神？

アタシが
生まれる前に
死んでるから
よく知らないん
だけどね…
多分…ウチが
神社だった頃の
最後の代だね

フツーに
解釈すりゃあ
誇張された
言い伝えだろうさ
「人でないもの」って
いったって平安時代の
貴族目線からすりゃ
自分たち以外は
「人」じゃあ
なかったってだけの
事なんだろうが…
この有様を見て
ひっかかったのさ
化け物を
操る…
成程…
興味深…
あーっ
もうこんな時間！
ごめん！
続きは帰ってからね！
このままだと
前期試験が
マズいの！
おおっと気をつけいッ
やれやれ…

6554
頼むから大人しくしててフク！
もう…
おかげで電車はまだしもファミレスとか入れないじゃない
離れられんのだし仕方なかろう
それに名前くらい普通に呼んでやれ
呼びにくいんだもん

しかし
先程の話……
成る程のう
吾らのようなものが
昔から他に
いたのならば…
どうした
ミズキ殿？
信じらんない！
信じらんない！
チカン…
ん？

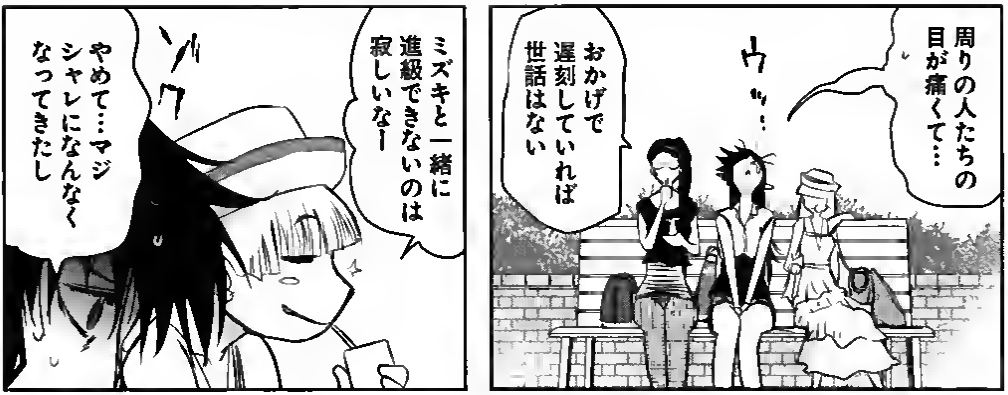
怖い…
意味わかんない…
…相変わらず
意気地の無い…
吾は
怖いという方が
意味がわからぬ
五指を一息に
粉砕してやる
くらいの力は
あるだろうに
なんなれば
吾が――
人前でダメ！
生娘は
ややこしいのう
いままで
このような経験は
なかったのか？
……
よくは
わからぬが…
不愉快ならば
やめさせれば
よかろう
怖い…

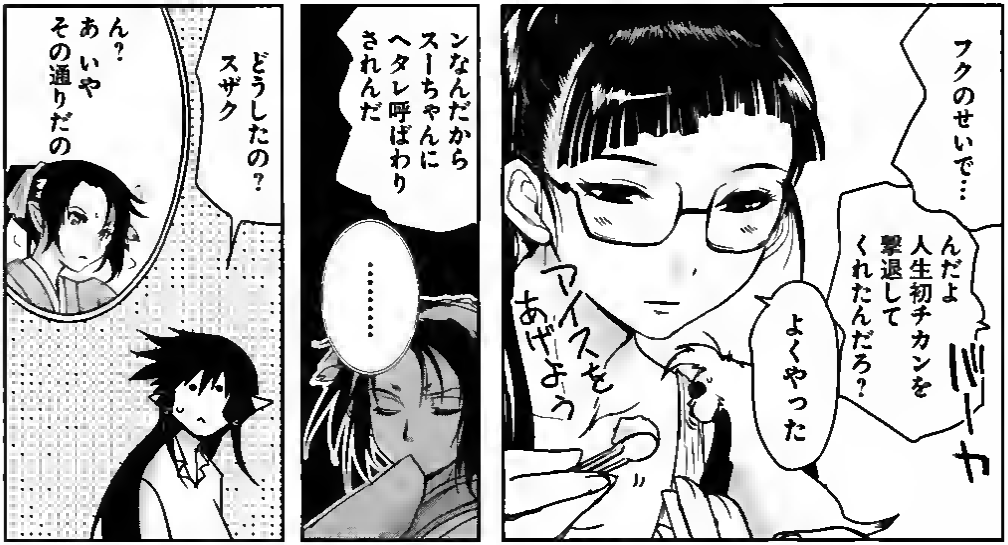
なかった…
考えたら
ハラ立ってきた
何重にも
よく
わからぬが
その意気だ
でも怖い…
気持ち悪い…
誰だか
何されるか
わかんないって
もう最低！
どうにかして！
なんだ
この重圧は…
それに
何も見えぬ！
聞こえぬ！
何が
起こっている…

痛たッ
何かに噛まれッ…
イヤだっ
ハヤッ
どうなっておる…
ぷ～～～
ぷへ～

貰いたのう
もしや…
ぬしゃあ…
不空(ふくう)かえ？
なんと
変わり果てた
ものじゃ
思ったよりも
恐ろしい相手の
ようじゃのう
じゃが生きて
おったのならば
幸いじゃ
めしに
命じる事がある
あれ…
チカン
いなくなった？
ミズキ殿！

何をした？
一瞬
吾は完全に
封じられ――
あたしは
何も…
ポ
イス
ポテ
？
フク？
あんた
なんで外に――
ザワ
ザワ
ザワ
ザワ
ザワ
そこでなんで
おめーの方が
次の駅で
降りちまうかなー


周りの人たちの目が痛くて…
ｳｯ…
おかげで遅刻していれば世話はない
ミズキと一緒に進級できないのは寂しいなー
ｿﾜｿﾜ
やめて…マジシャレになんなくなってきたし


フクのせいで…
んだよ人生初チカンを撃退してくれたんだろ？
よくやった
ﾐｰｶ
ライスをあげよう
ンなんだからスーちゃんにヘタレ呼ばわりされんだ
……
どうしたの？
スザク
ん？
あいやその通りだの

ひどい…
チカンなんざ安全ピンでよ
モム
モム
モム

不空に命ずる——
結界の要を探すのじゃ
ｺﾞﾙ
ｺﾞﾙ
ｺﾞﾙ

第二話／完

食うてみたのか…
ハァ
ハァ
ハァ
コク

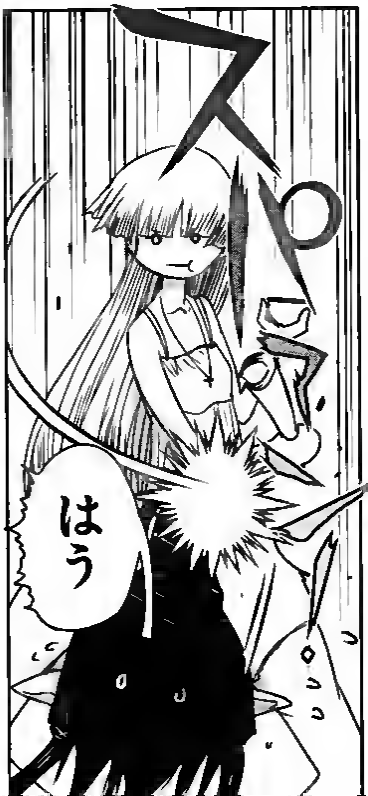
デスレス

DEATHLESS

トトトッ
ご飯であるしませ～
ケパン
ケパン
コトコト

第十四話
傍にいるひと

カシ
カシ
カシ


スッ
はう

メシの時まで
我慢しいんだよ
ちゃんと
食えっつーの！
だって〜

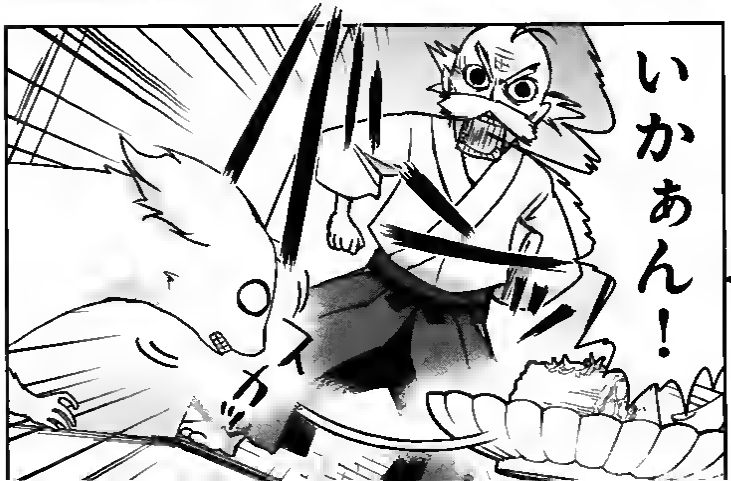
欠席が
多かったから
平常点が
マズいの！
他学部聴講は
試験が無いから
レポートと
平常点命なのに
せめて
テスト科目は
落とさないように
しなくちゃ…
おおおお

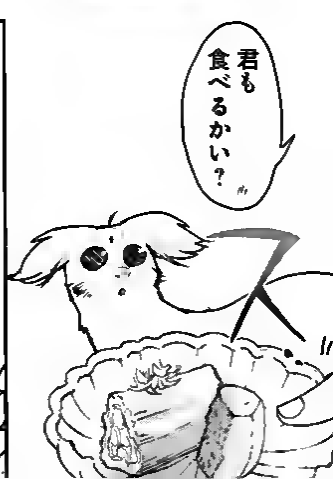
カマドさんのご飯で充分かも…
ホゥ…
甘(アメ)ぇよ大町(デカマチ)
あいぃ
生まれてきてすんません
ミズキ(コイツ)なんもしてねえじゃん

んでもマジンまいよなカマたんのメシ
あれ嬉しやれ
お金になる味だと思う

たんと食べるでありませ
……「カマたん」
おー♪

有


いかあん！


君も食べるかい？

ダメじゃダメじゃ
タマネギが
入っとるじゃろ！
タマネギや
チョコレートは
毒だと書いて
あったぞい！
わざわざ
本まで買ってる
やさしい犬の飼い方
コク
そやつには
専用の――
ムサ姉事情
知らねぇの？
しょがねーな
この後回し体質は
なんとか
ならんかの
ムサシさん
なんじゃ
グイ
おいしいフェレット飼育
イヤ
イヤ
この子は
シロフクイタチという
特殊な雑食種なのです
人間と同じモノを
与えないと
かえってお腹を
壊しますよ？
ほうッ？
そうじゃったか…
本に載っそらんかったがのう
ホ…
さすが大学生じゃ
ミズキも見習えい！
ウム！
アイツ真顔で
言うから
説得力あるよな
もっともらしい
うむ
見習え
ポン
ハハ…

それじゃあ
ミズキ
お互いに試験を
頑張ろう
カマたん
メシ
美味かったぜ
またおあがりに
来てませー
…うん
ほんとに
ありがと
ガラ
みんなの分まで
ありがとね
カマドさん
なんので
ございまして♪

さあ！
ここまで
してもらって
単位取らない
わけには！
浮き世は
難儀だの
ドキャアアア
おい
ZZZZ

眠らないで済むとか
アタマ良くなるとか
何か特典無いの
この体！
どこから夢!?
ほんの数分だ
ミズキ殿次第かもしれぬが
姉様あ
ハダタン

臭うのでございますあれ♪
そうかだが今宵は手が放せぬようだ
好きにしやれ
はうう
ピャ♪

あいであるです
トタン

トントン
あうあう

はー

う…

ちょっと待って？
ガタッ
気にするな
ミズキ殿には現状関わり無きことだ

そんなわけには
いかないわよ！
さっきの
誰かが死ぬって
事でしょう!?
試験からの
逃避では
ないのか？
ヤなこと
言うなあ
ねえ
カマドさんって
こないだ
自殺したひと
食べてたよね
どれくらいの
頻度で
お腹が減るの？
あ。しまった
さて…
吾自身の事ならば
わかるが…
ここ最近の
諸々（モロモロ）のことで——
吾らが同じもので
あるという前提が
さっぱり揺らいで
しもうた
確かめた事が
あるでなし…
……

カマドさんって…
料理好きだよね
作るも食うもこだわるのう
でもたしには
ならないのよね…
まあの
やっぱり
こっちの方の
お腹が空くんだ…
当然だ
吾やフクウとは
状態が違う
？
何か臭い…
いた！

こんなヤブに
なんで車――

うん…そーいや
この山
名所だって
聞いた事ある
…何の名所だ
排気ガス
臭いと
思ったら…

カマ――
待て
ミズキ殿

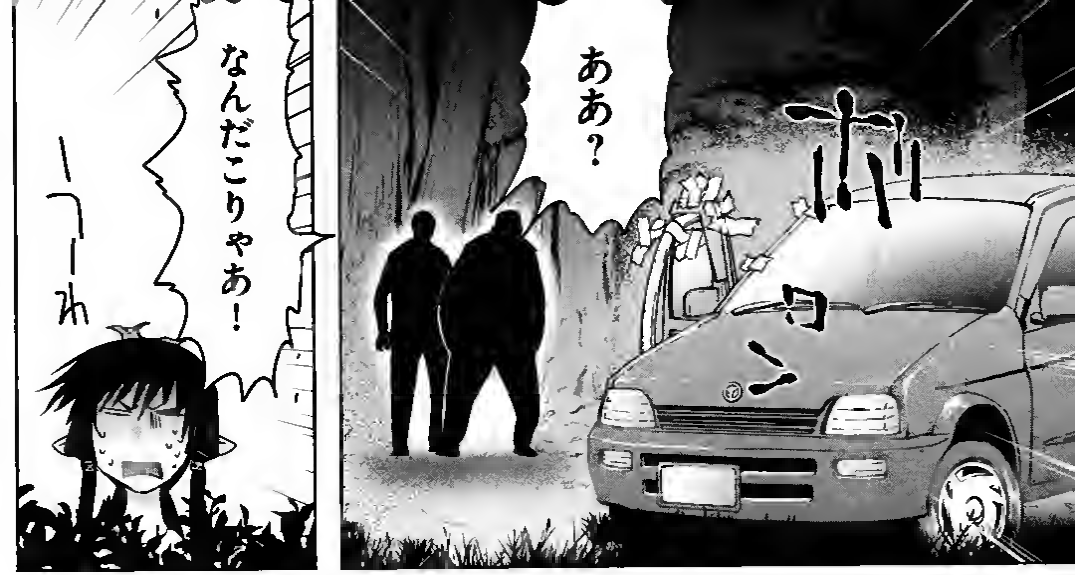
吾らも各々一人での
喰らい様を見ることは
あまりなくての
カマドの
やりようを
見てみたい
でも…
というか…
カマドが人を
喰らうとして…

ミズキ殿は
止めるつもりか？

それは…
ベリベリベリ
モゾ
ニヤ
あたしは……
あッ…
エロホ
げぶッ…

何が…
いったい…
生き返った…
死んでたんだ…
自殺して…
うわあっ
誰だ！
！
ケピ。
人肌で寝てしもうておる
困った癖だなあれは…
ていうか一人の時って致命的じゃない？

ドン
カマドさんらしいというか…
連れて帰ろっか
待て
逃げちゃった…
？
やれ
勿体ない
あーあ
ゾっとしねえな
ちゃんと仕上がってるか確認して通報しねえとよ
足跡とか残すなよ


ああ？
なんだこりゃあ！

あの野郎
怖じ気づきやがったな！
なんだこの女は！
何だこやつらは
これってまさか……犯罪？
たぶん保険金目当てかなにかの…
えーと
えーと
おい！起きろ
野郎の知り合いか？
アイツぁどこに行った！
どういうことだ
自殺でも免責期間過ぎてれば保険はね…
ってそれどころじゃ！
待て
カマドの心配はいらぬ
いやだから…
娘子が…

手を出すなら
なんで
ハダカなんだ
コイツ
和服？…
先程の答えを
出してからにせい
はれ
たべもの
なので——
なんだ
コイツ薬でも
キメてんのか??
カラダに
聞いちまおうぜ！
すっげえいい女だ
俺ガマンできね！
ああ…
良べるなって…
それは——
「死ね」って
いうのと
同じ事で——
いらっしゃい
ましてあれ
なんだぁ？
いつの間にか
当たり前みたいに
一緒に暮らしてた

人の時(じだ)を喰う化け物

綺麗で――

料理が好きで――
争いが嫌いで――

ちょっ！
死んだひとか
人殺し以外
食べないって
いうのは――
あの約定に
縛られておるのは
吾だけだ
カマドは
付き合うて
おるだけのこと

何にも
縛られてない――
スザク…
答えは
出たか？

保留で…
やれやれ…
また後回しか
答えは――
同じ化け物に
返ってくる…
試験どころじゃないけど！
けど！
――そして
試験結果
ギリセーフ

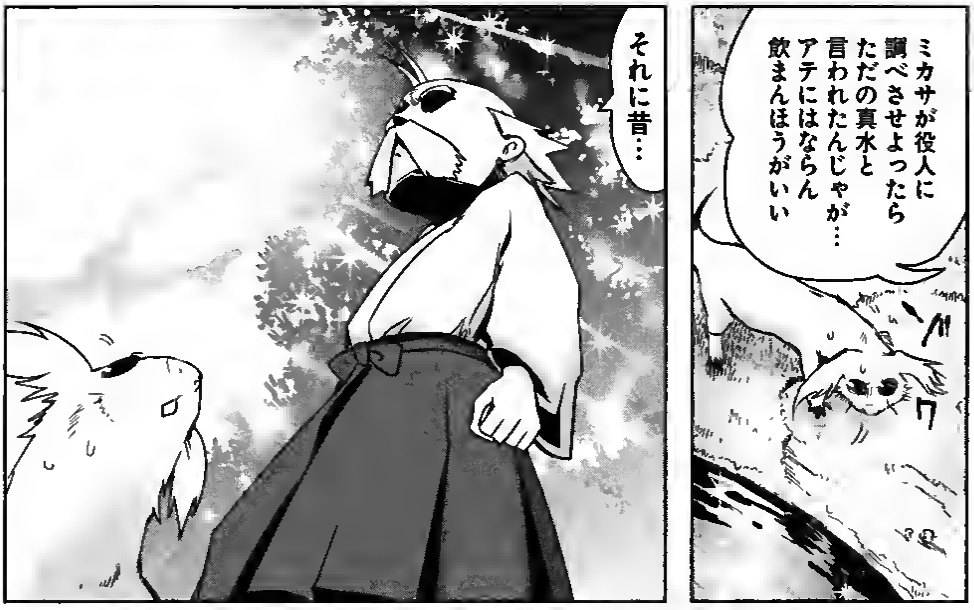
おかわり いかがにありますかー？
うんッ…いやはいッ…
ビク！
小者

デスレス

DEATHLESS

うむ
よい朝じゃな
フク
散歩の時は
裏庭のこの池に
気をつけるんじゃぞ
フク
だめじゃ！

ここは
不思議な
池でのう
蚊も湧かんし
水草も生えん
昔ミズキが
縁日で取った
金魚を放したら
いつの間にか
いなくなって
しもうたり…


ミカサが役人に
調べさせよったら
ただの真水と
言われたんじゃが…
アテにはならん
飲まんほうがいい
それに昔…

この池の畔でな…
オギャア

オギャア
オギャア
オギャア
いや…
なんでも
ないわい
行くぞい
ザッ
ザッ
ザッ
水飲み場なら
あっちに
あるんじゃ
――要を探せ
結界の要を
探せ

第十五話
水の中のひと

――ミズキです
ゴロン
前期試験が終わりました
夏休みです
テリリリリリリリン
テリリリリリリリン
テリリリリリリリン

もし 誰か
此方は宮森ぞ
イヤッ
わおう♪
その口調は
スーちゃんだな？

これは
松川殿
ミズキはー？
未だ就寝中だ
アアン
ヘー
スーちゃん
自分で出て
これんの？
事情を知らぬ者が
周囲におらぬ場合は
いちいち許しを
得ずともよいと
許可を得ておる
電話に出る
妖怪かー
笑える
スペックだなー

して
何用かの？
おうよ！
あのな――
シャ――ン
なんだろ…
いっぱい
ひかりがある…
きれい…
――？
ゴポ…
!!!

!?
?
?
ビビビ

ぽはうッ！
ぽー
はー
ぷー
はー
ぷー
外？
はへ？
？
いつまで寝ぼけてんだよっ
ポケッ

ワイ ワイ
えーと…？
やっと目が覚めたか
熟睡にも程があるの
ここどこ？
海だの
いつの間に？
松川殿に誘われたのだ
パシャ
パシャ
勝手に何してんのよ！
別に予定など無いのであろう？
やっと目が覚めたのかミズキ

おはよう
寝ぼすけ
試験終わったからって
腑抜けてんじゃ
ねーぞ！

せめて
前の日に
言ってー
私も今朝
聞いた
ポイ
だって
約束だったしょー
感謝しろよ？
突発だったから
この程度で
すんだんだぜ？
パス

約束？
この程度って…
何の話？
カシャッ

ワイ
カシャッ
！
ワイ
カシャッ
パっ
パレオとか
パーカーない？
貸し…
ダメだ
なんか
大学のひとが
いっぱいいる！
なんで？
ノートや
過去問集めるのに
取り引きしたから
お、
ワイ
ワイ

前期の単位と
引き替えだ
安かねーだろ？
へーえー
売ったんだ？

大体いつの間に
こんな水着…
似合うておるであろ♪
あたしが
見立てるって
約束で
カンパ集めたら
あっつー間に
買えたぜ

てなわけで
おめーには
堂々とする
義務がある
だが
隠す権利は
ねえ
布少ないー！
なんかスースー
……
オオオ
ほれほれ
ブルブル

…すると
思ったら髪が…？
うんあれは
びっくりした
スザクさんが
いきなり
素手でバッサリ
いくとは
なんか
いいもの見たって
カンジ
ジャッ
ズー
パチパチ
お

泳ぐには邪魔であろ？
安心せい元に戻すのは簡単だ
またフォローしにくい事を…
姉様ー
ワー
キャー
ドパーン
？
ピルルルル

姐様！おなかがすくであるでして♪
カマドさんまで…
ヒマそーだったし誘ってみた
ドドドドド
一人残すのも可哀想であろ
いやいいけど…
すげ…
「あね」って妹？
人前でムチャしないでよ！
久々の水遊びは面白してありえますな！
オォ
オォォ

ふっくら…
エクスタシー☆
？
ちょっと！
なんてモン
着せてるの
ヒトを
選ぶ系の水着が
違和感ねー
かてたん
オオ？
オオ
カシャ
カシャ
カシャ
私も
冒険が過ぎると
思ったんだが
似合ってる
アレに清楚なヤツ
着せてみろ
手がつけらんねーぞ
ほっとけ
って
カマドさんで
思い出した！
フクは……

キャハハ
キャハハ
キャハハ
なにこの子
やだ
キャッキャ

現金なものだ
よかったなー
みんなあっちに
いったぞ
ゆっくり
できんじゃん
オオ
悔しい？
はは…

はい
はい
はい
はい
はられ～

かわいい
はれ
おいしそうで
ありまして

ノリ
悪いなー
家で
クサってんより
マシだろ？
楽しめよ
皆 試験期間中は
勉強三昧だった
からな
息抜きは
必要だ
うん…

松川殿らの心づくしだ
楽しまねば失礼だぞ…
うん…
ミズキ殿
吾はもう少し泳ぎたい
さっきは水に入った途端にミズキ殿が目覚めたからの
残念ながら人前ではもう代われぬし
うん…
なんだまだ何か屈託があるのか
いや…
その…
ワイ
ワイ
あたし……
泳げないんだよね…

周囲に
教えてくれる者は
おらなんだのか？
ムサシお爺ちゃんに
めいっぱい
仕込まれたよ？
ではなぜ――
水への
苦手意識をね！

なるほどの…
ふむ…
良い機会だ

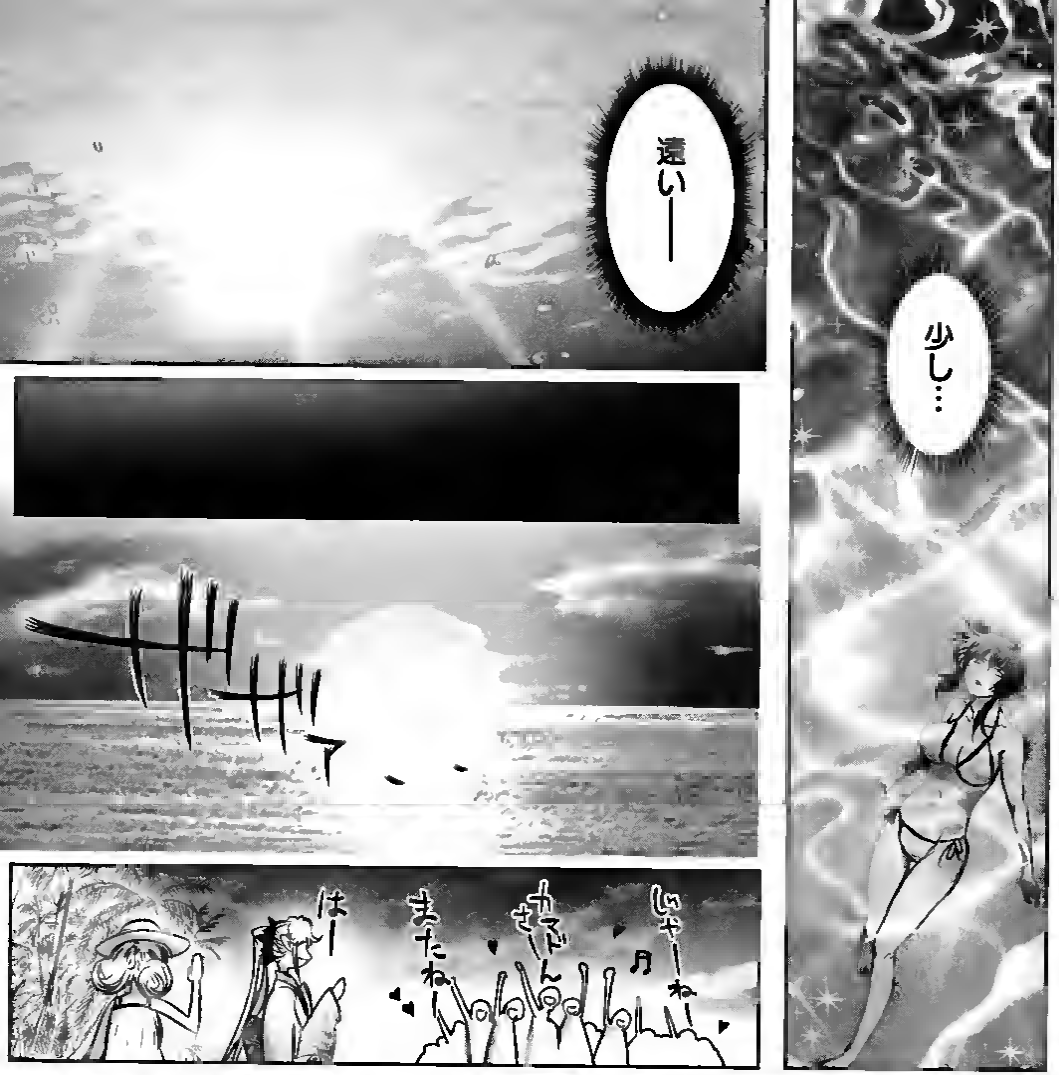
無意味な
苦手意識なぞ
無くして
しまえ
できれば
してるって
小中高と
どんだけ
苦労したと…
お
遠い

最早
何も言うまい…
トクロン
チャプ。
チャプ。

無意味だと言うたであろ
何故水の中がダメなのだ
溺れちゃうから…
何故溺れる…
息が続かないからに決まってるじゃない
その躰をなんだと思うておる
はあ？
息を止めてみやれ
ん…
まだ止めよ
まだまだ
いやいやいや
苦しいって！
本当に苦しいのか？
何言ってんの？
冷静に感じよ
呼吸という習慣を忘れてみやれ
習慣？

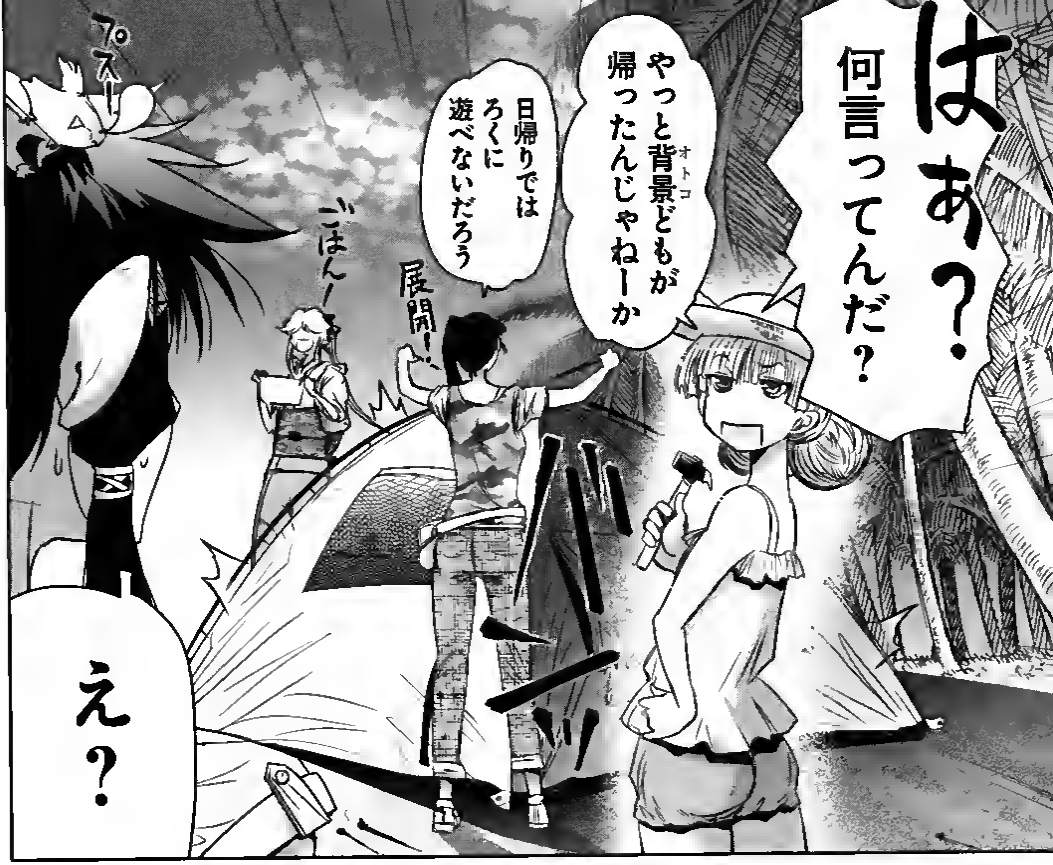
そんなこと言われても…
息を止めっぱなしで平気なわけ――
ピタッ
苦しくない
気のせいぞ
ピタピタピタ
ピタ
嘘…
そのまま――
水の中に行けばよかろう
トプン

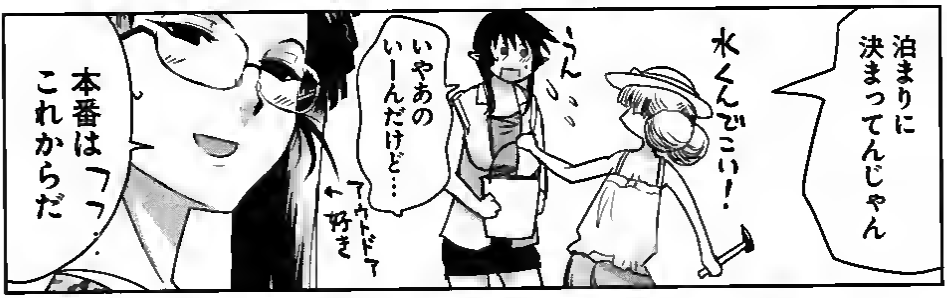
綺麗……
でも…
あれ？
浮き輪だけ？
ミズキは？
スーちゃん
ついてっから
大丈夫だろうけど


遠い――
少し…
いやーね！
カマドんさーん
またねー
はーい

カマたん人気だなー
松川（マッ）大町（マチ）…
つかえる

誘ってくれてありがと
今日は楽しかっ…


はぁ？
何言ってんだ？
やっと背景どもが帰ったんじゃねーか
日帰りではろくに遊べないだろう
ごはん！
展開！
ﾌｫｰｽﾄｰ
え？


泊まりに決まってんじゃん
水くんでこい！
うん
いやあのいーんだけど…
アウトドア←好き
本番はこれからだ

お姿ちゃんたちにも何も……
安心せい書き置きは残して来た言うておらなんだか？
初耳！

第十五話／完

大町同和

OOMACHI DOUWA

松川小鳥

MATSUGO KOTORI

デスレス

DEATHLESS

ポン
ポン
ポン
ん…

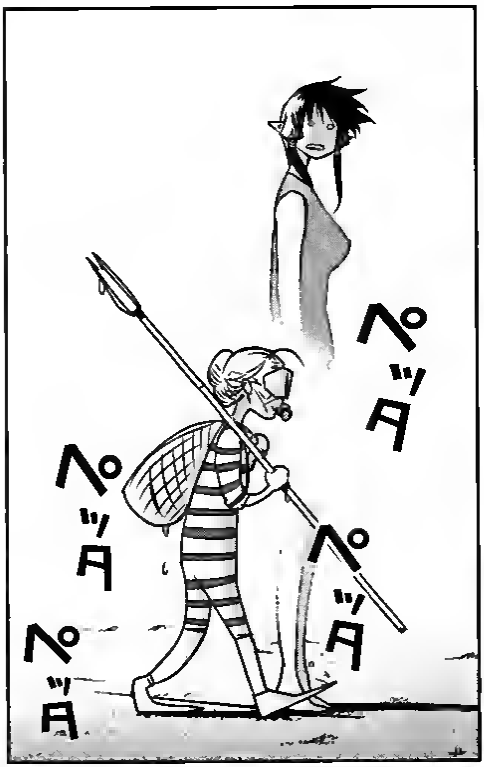
第十六話
変わるひと

昨晩は――

ガールズトークという名の
一方的な尋問で
人生を丸裸にされ
小5の時の
センセイ！？
中2のときの
センパイ！？
なんだその
ありがちな
優しくされたら
片っ端からっぽい
無難な恋バナは
で？何か
あったのかよ
卒業式で
ボタン
もらえなかった
うわッ
甘酸っぱい
以前
ダメだコイツ
無味無臭！
無味無臭…
酷い事を
言われていて
尚且つそれが
的を射ておると
いうのはわかる
んで
酔っ払ったまま
花火やらなんやら
おお
シュバッ
シュバッ
当たんない
よーだ
ヒュン
ヒュン
ヤケ
おーホントだ！
すげェ！
まあ
悩むヒマが
なくて助かるけど

イッチ！
ニィッ！
ザァ…
フカ…
武蔵お爺ちゃん
おはよ
ヒュンッ
ヒュン
おう！
毎朝元気ね…
イチ！
ニィ
？

ヤバ
おじいちゃ……
フッ
フッ


ペッタ
ペッタ
ペッタ
ペッタ

コーホー
コーホー
ポタ
ポタ

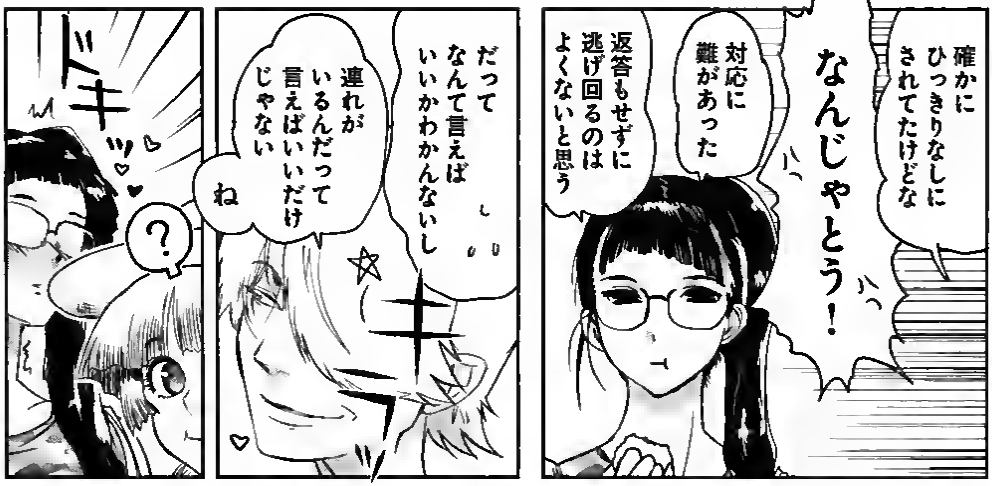
準備できてるよー
ムサシ！包丁貸しな！
包丁じゃないわい！
ガサッ
パチ
パチ
パチ

なんで？
延寿の女の車に便乗したのさ

いやなんでって方法の事じゃなくて
アグレッシブな書き置きのせいでムサシが心配してね
嫁入り前の娘がなんと破廉恥な！

スザクどんな書き置きしたのよ
マツ殿の誘い文句通りに書いただけだが？

マッ○ねらと
ぎゃくなんしに
あへひさ仏
なにが
「ぎゃくなん」じゃ
達筆であろ
まあこれで
来る方も
こんなところに
いた
あー
婆ちゃんたちだ
ちーす
朝食
一緒にどうだい
あざーす
いただきまーす
やりー♪
アハハ
ちがうって
えー
だから
ほっ
ナンパ？
はい？
言ったっけ
そんな事
電話口で
言っていたぞ
モグモグ


確かに
ひっきりなしに
されてたけどな
なんじゃとう！
対応に
難があった
返答もせずに
逃げ回るのは
よくないと思う
だって
なんて言えば
いいかわかんないし
連れが
いるんだって
言えばいいだけ
じゃない
ね
？
ドキッ♡

孫の友人に
秋波を送るんじゃ
ないよこの
見境無し！
ドキ・ドキ・？？
大町って反応する
タイプだったんだ
危なっ
タイプ？
延寿お爺ちゃんって
なんか一定のタイプを
惹き寄せちゃうんだって
近づけないようにしないと
とにかく話に
ならなかったから
安心してくれよ
途中からは
カマドさんの方が
よっぽど——

あれ？
カマドさんは？
そういえば…
もの食べてるのに
出てこないなんて
おお
カマドなら——
行って
くるのであり
明け方何か
嗅ぎつけたようだが
ミズキ殿も
寝ていたので
「好きにせい」と
言うておいたが？
ちょっと待って？

嗅ぎつけたって
例のアレでしょ?!
何の話だ?

カマドさん
散歩に行ってたって
トイレ
行ってくる!
そっちは
林だぞ
アグレッシヴ
だなあ
おお

なんで
行かせたの!

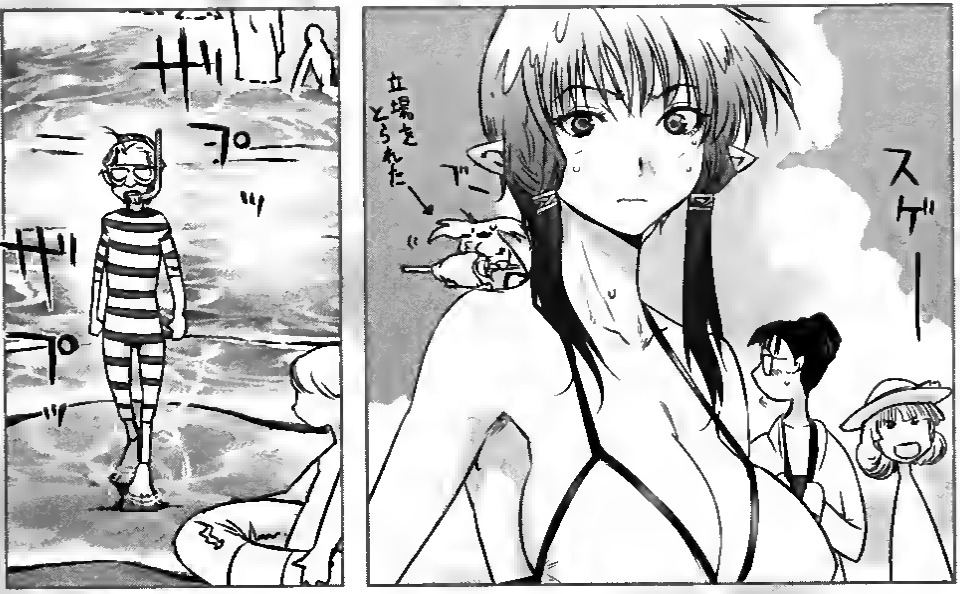
何故
誤魔化す
そのへんの事は
まだ話して
ないの!
ていうか
絶対引くから!

このへんで
事故死か
殺人が起こったって
ことじゃない
まあの

そうそう
人死になんか…
誰か溺れたとか
放っておけ

でも!…
いちいち追うてどうする
止めるのかどうか答えは出ておらぬのだろう?
そうだけど…
それを止めろっていうのは…
死ねっていうのと同じ事で——
簡単に答えなんか…
出せるわけない…
ワィ
ワィ

スゲーあ
ゲラゲラ
ヌッ
ヌッ
ヌッ


スゲー
立場をとられた

古式泳法
元気…
おぉ
むずかしい

てゆーか
長いだろ
散歩！
ミャア
ミャア
#コロン…

カマドさん
帰って来なかったな…
道にでも
迷ったのかな…
それはない
おーい

あやつは
方向音痴では
あるが…
吾の匂いを
覚えておるゆえ
吾の場所が分からぬと
いうことはない筈だ
そうなんだ

じゃあスザクは
カマドさんの
居場所は
わからないの？
分からぬ
スザクって
意外と何も
できなくない？
なんか
自分の無能を
棚に上げてる
ヤツがいんなー
ひでぇ

合流できぬ
状況にある
可能性が高い
まさか…

ふむ…ついつい
気にもせなんだが
確かに変だの
あやつが
断りもなく
帰りが遅い事は
いままでなかった
事だ
ええと…
どういう…

カマドさんだよ？
忘れたのか

フクウを
差し向けた
相手の事も
まだわかって
おらぬのだぞ？
あ……！

カマドは
弱くはないが
争い事ができぬ
裏われておったら
手遅れかも
しれぬな
そんな…
杞憂やもしれぬが
可能性の話だ
ほっとく
わけにも
ねー

ミカサ
わかんない？
今はもう
ムリだね
婆ーちゃん
昔はなんか
できたのか？

通称
千里眼の
ミカサ
人捜しとか
モノ探し
百発百中
だったんだよ
へー
かっけー
昔の話さ

…そういえば
ミカサ殿は
巫女の筋と
言うておったな
昔はスゴいもの
やめな

ミズキ殿
何を考えた
なんでもない！

宮森の血筋は確かに…
この際それも有りやもしれぬな
ちょっと待ってスザク！
時を使うのもったいないって言ってたじゃない！
その件についてはほぼ問題ないのだが…事情はそのうち話そう
ハア…
？

それに杞憂であればよいが…
よしんば敵の仕業だったとして今カマドを渡すのは得策ではない

ほんとにやるの？
わかるとは限らないよ？
意外だの
ぐ？
ミズキ殿は嫌がるかと思うたが
あたしも…カマドさん嫌いじゃないもの
あと…
？

怖いモノ見たさ…
お婆ちゃん…
シタ
シタ
ミズキ
みんなでカマドさんを探した方がよくないかい？
ごめん
!?
ミカサ殿
水着の分少々痛いやもしれぬ
ミズキ殿が脱がせるのは抵抗があるというのでな
ごめーん
イヤーッ
スザクさんかい!?
まさか…！
ちょっとお待…！
ウウウウ

なんだ
おお？
なんじゃ！
なにを
しとるんじゃ！
へえ
思い切った
なあ
いたた…
ちょっと
痛かった…
大分面積が
大きくなった故
楽になったぞ

すごい…
改めてひとのを見るとシュールだなー
おっ！
……悪夢じゃ…
懐かしいなあ
まったく…

なんてことすんだい！
お姿…ちゃん？
あ？
何をそんなに驚愕しておるのだ
なんだ昔の姿は知らなんだのか
うん…そういえば「お姿ちゃん」になってからの写真しか
えーえー
……？
時の流れの無情さがどうした？
あしーっ！
ドン!!

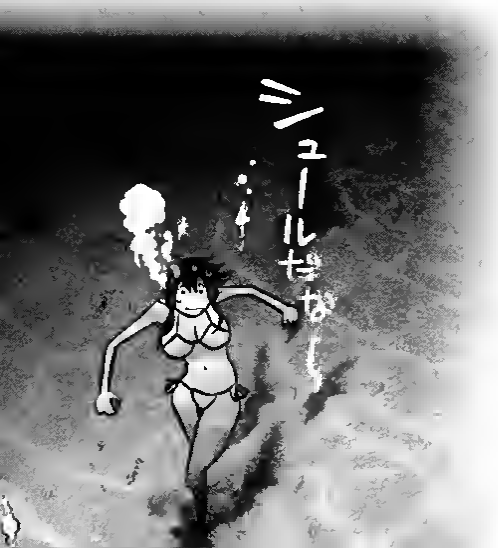
いたい…
ぬう…
吾まで…
いたい…
まったく
人に断りもなく…！
アンタ達の
リスクを増やして
どうすんだい！ッたく
何だい
この
水着
説明は省くが
時の消費に関する
危機は現状
回避されておる
ほっといて
ばーちゃん
びっじーん
ダイナマイッ
ミズキは
お婆さんに
似なかったのだな
その辺りの
判断も加味しての
事だ
どうであろ
えーと…
そういえば
ミズキは
どなたの直系の
孫なんですか？
誰だと
思う？

出来るかどうか
保証できないってのに…
結構焦ってるって
こったね
まあ
なっちまったもんは
しょうがない…
ア…
ゴオ…
くわッ
喝！

ポ
木のぼう
ハァ
ハァ
いやホントに百発百中だったんだよ
海？
海だよな
いやそれ以前にもっと…
恐いくらいじゃった…

ある程度進んだらコレを繰り返して方向を修正してさ
ホントだって
いやあのもう少しなんていうか
いやでも海だし……
だから保証できないって言っただろ？
迷うておっても仕方がない
ミズキ殿この方向へ進んでみようぞ
フウ！
他に手がかりもないしね
じゃちょっと探してくる
スタ
おいミズキ！
なに？
なにって…おまえカナヅチじゃろうが！
大丈夫…
あたしもう絶対溺れなくなったから
？
ザプッ

水中か…
ゴボボボ
吾はあまり得意ではなかったが…
カマドならば有利なはずだがな…
そーなんだ？
ゴボボ
確かに泳ぐの上手だったけど
ゴボッ
まあまだ何かあったと決まったわけではない
それにしてもどう探したもんだかなあ…
ズズズ
ズズズ


シュールなお

次巻予告
さらわれたガマト!
水面下の襲撃!!
ミズキ
水中戦!
デスレス 第三巻
2011夏発売予定!!

デスレス

第二巻

STAFF

·制作·

六道神士

·作画補助·

木林田 ウナム

たけぽんG

長 老

春夏秋冬 鈴

·担当編集·

筆谷芳行

(敬称略·50音順)

●コミック579●

【YKコミックス】

デスレス②

平成23年3月18日 初版発行

著者 六道神士

©KOUSHI RIKUDOU 2011
発行者 筆谷芳行

印刷所 大日本印刷株式会社

製本所 星野製本株式会社

ヤングキング 平成22年第19号～第21号, 第23号, 第24号／平成23年第1号, 第3号, 第4号 掲載作品

担当編集／筆谷芳行

発行所 株式会社 少年画報社

〒101-8388 東京都千代田区三崎町3-3-12 電話 03(3262)3501

HomePage http://www.shonengahosha.jp/

造本には充分注意しておりますが、落丁・乱丁(本のページの抜け落ちや順序の間違い)や印刷不良の場合は、ご購入になられた書店・小売店名をご記入のうえ、小社『販売部』宛にお送りください。送料小社負担にてお取り替えいたします。但し、店頭事故本や古書店でご購入の本は小社ではお取り替えできません。
出版物の無断複写(コピー)は著作権法上で規定されている例外を除き禁じられています。本書の購入者以外の第三者が無許可で『複製(電子データ化も含む)』・『上映』・『上演』・『放送』・『データ配信』することは、かたくお断りいたします。

ISBN 978-4-7859-3579-5

Printed in Japan

Mizuki' s University friend, Matsu was killed by an unknown enemy! Mizuki brang Matsu back to life by her spiritual power, and made up her mind to beat it down. The enemy, Fukuh seemed a little boy, but was stronger than Suzaku: a Deathless assimilated by Mizuki' s talent. In the end, Mizuki got him up. Though she won, she noticed a calamity of her body...